

R-18  
adult only



ミモザ

の

涙

ミモザの涙

Jun\*Hiyori / Ensemble Stars!! unofficial fanbook  
by Onigiri Okome 2022.03.21



花言葉 覚えてる？



……日和くんは  
初めて会ったときから

いちばん大事なことは  
言葉では伝えてくれない



そうだね  
わかってる

伝えてしまった先にある  
未来を失敗してしまったりと  
思うと怖いんだ

君は生きるのが  
ヘツタクソだから



ああもうなにこれ  
むかつく

でも心配は無用だね  
今までだって  
うまくやれてた

失敗したのは最初だけ



日和くんは昔から  
人付き合いが得意ですけど

どうやったらそんなふう  
に若い子と仲良く  
できるんですか？



目線の高さを合わせて  
ちゃんと真正面から  
心を込めて  
接するだけだね！

それが良い日和！



さて  
どこからどこまでが  
正真なのか

ぼくは天才だからね  
どんなことだって  
うまくやってみせる



ぼくに意見を言うってことは  
今回のステージを  
台無しにすることだって  
理解してる？

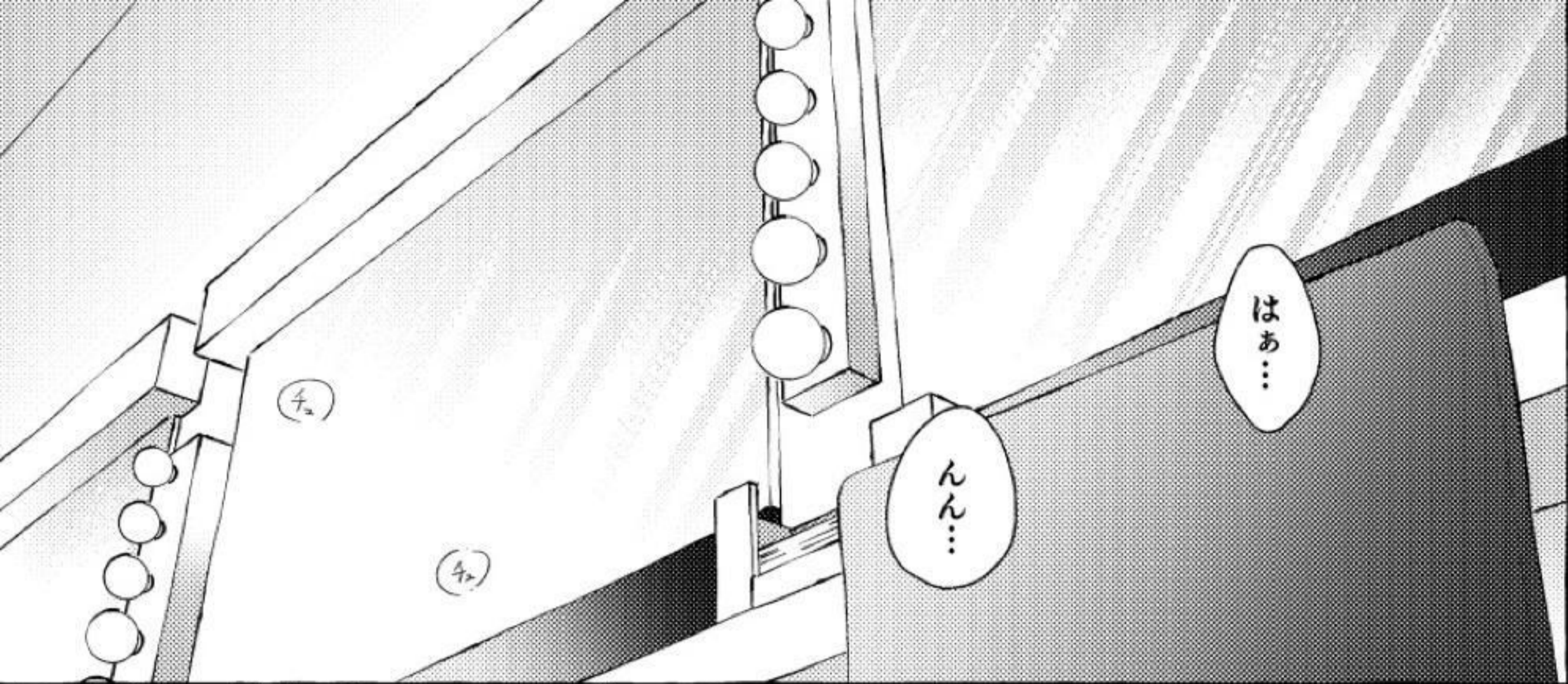
一度自分の頭を開けて  
脳みそを確認してみると  
いいね

そっ  
今回も

『しまぐやれた』

ん...









ほっす



ん…

と…



気分  
どうですか？

うん

ごめんね…  
もう大丈夫



…家族の為

ですか




それは無理だね



はあ…  
人に嫌われるような  
発言してそのたびに  
落ち込むなら  
やめればいいのに…





…正しいことを  
言ってるはずなのに

嫌われちゃう理由が  
わからないね

いや…わざとそれ  
言ってますよね？

さっき言った通り  
あんたの言動のせい  
でしょうが…



当然だね  
そんなことわかってる

自分は  
酷い寂しがり屋な  
くせに

人に嫌われることは  
死に値するほど  
本当は嫌なくせに

他人から見た自分の言動は  
めちゃくちゃなんだって  
ことくらい

でもそれでも





家族はぼくにとって  
とても大切だからね…

馬鹿がつくほどの  
自己犠牲











当日おひいさんに  
伝えたいことが  
あるんです



ああ



ぼくもOBとして  
顔を出しに行く  
予定だね

うんうん  
ジュンくんの晴れ舞台  
楽しみだねえ〜♪



なあに？



「ジュンくん」  
言っちゃったの  
ぼくの悪い癖だね…

なんてね…



告白でも  
してくれるの？







でも  
いいんです



まあ断られるん  
ですけどね

オレ



決めてもらいたいって…

きみはもう一人で  
考えて進めて  
いけるよね

ぼくから  
与えられていたものを  
撮取するだけの期間は  
終わったはずだね



卒業式っていう節目で  
改めてオレの気持ち  
をおひいさんに伝えて  
おきたいっつーか…

黙って横にいるのは  
性に合わねえし

それを聞いて  
もらった上で

今後  
オレをどうするかを  
あんたに決めて  
もらいたいんで



そう…で  
ありたいんですけどね

いまいち自分が  
自立していける人間に  
なれたって  
実感がねえんで…

だからあんたに  
決定権を委ねるのは  
これで最後にして  
もろもろの自分の気持ちに  
ケジメをつけたいんです



ならそれが  
答えだね



とはいえ

オレとしては  
これからも  
おひいさんの隣で  
歌いたいですけど…

きみの好意は  
嬉しいけど…

仕事上の  
パートナーとして  
これからもよろしくね

ジュンくん





そんな「勘弁してくれ」  
みたいな顔  
しないでくださいよ



告白前から  
断られるとか  
キツツ…

ま  
当日も言います  
けどねぇ…



答えは変わらないん  
だけどね…



…もうすぐ  
時間だから  
準備しておく  
いいね

あ  
はい



だって  
そんな顔にも  
なるね…



カチ



ぼくは  
ジュンくんのが  
好きだ





彼の気持ちに  
応えることはできない

コソコソ

失礼します！

かき

そろそろ  
お時間です

っし！

行きましょう  
おひいさん

いつも以上に  
お客さまに  
愛を与えようね！

ういっす！

うん

今日のライブも  
いつも通り…  
ううん



キラキラした舞台

舞台上でいつも  
ファンの子たちから  
『愛のようなもの』を  
受け取るたびに

幸せな気持ちになれる  
唯一の場所

そう  
いまのほぐしとっちは  
『愛のようなもの』で十分だ

『愛してほしい』だなんて  
願わない

お疲れ様でした！





誰だっけ…

久しぶり…っ  
また会えて  
嬉しい!



ん?

日和くん…

あ、あの

お疲れ様ですー



ああ思い出したね  
たしか

以前サイン会に  
来てくれた子かな?

でもごめんね  
個人的なお話は  
ご遠慮するね

メッセージなら後で  
マネージャーに伝えてもらうか  
事務所宛てに送ってくれば  
ぼくも読めるからそっちに  
お願いするね

アッ





「愛してほしい」だなんて  
願わない



望んだ先に  
失ってしまうものがあるなら



最初から  
望まなければいい



おひいさん!!!





え...

う...

ハッ  
ク  
ッ...





あんたが  
悪いのよ!!!



え…  
何これ…

ジュン…  
くん…?







何してるんですか！  
早く取り押さえて  
ください！！

救急車も  
早く呼んで！！

あんたのせいで…  
あたしは…ッ

あたしはあああ

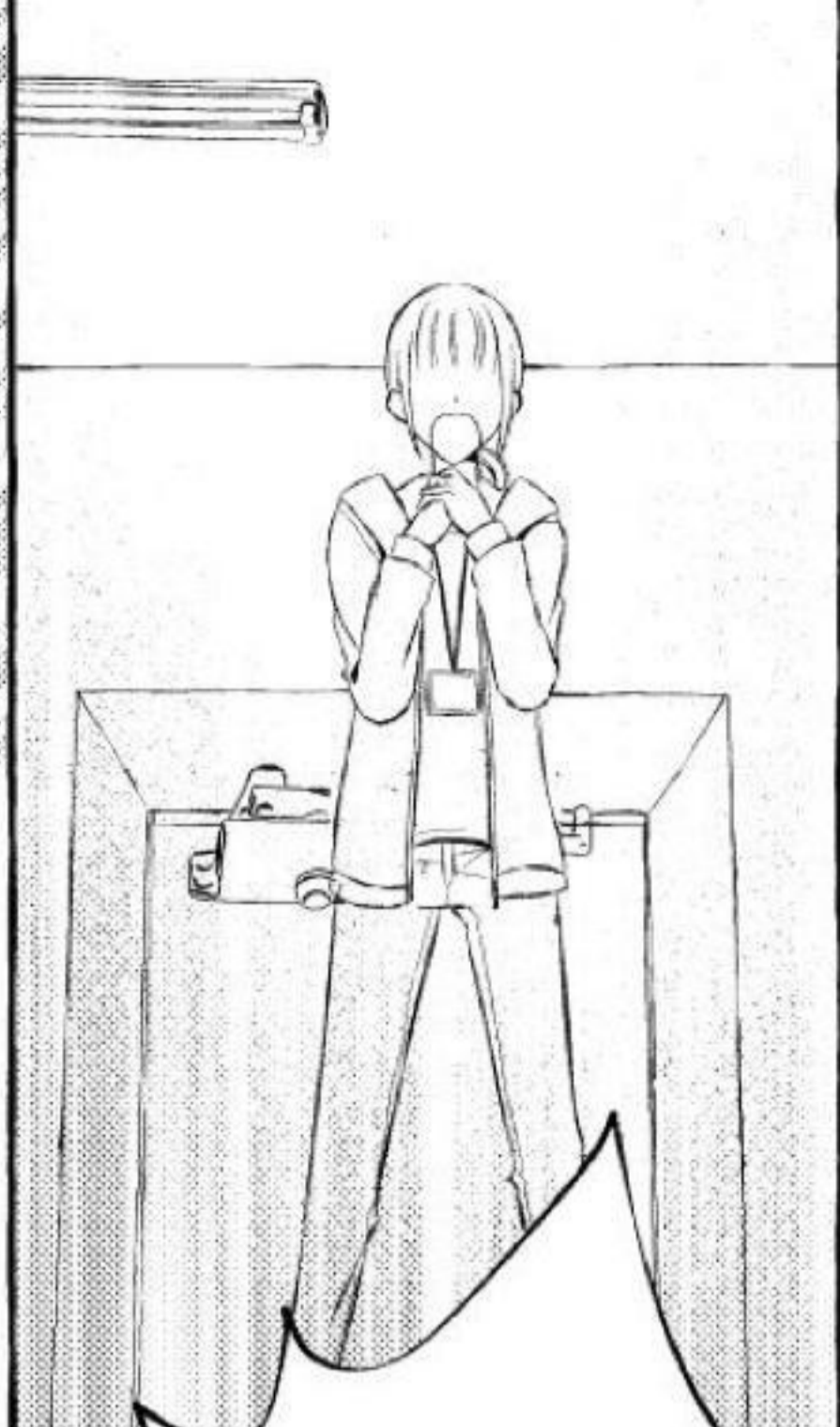


ほくの…せい…

うわあああああ

やめてっ  
離して！！

ジュンくん…



あんたが  
全部悪いんだから！！





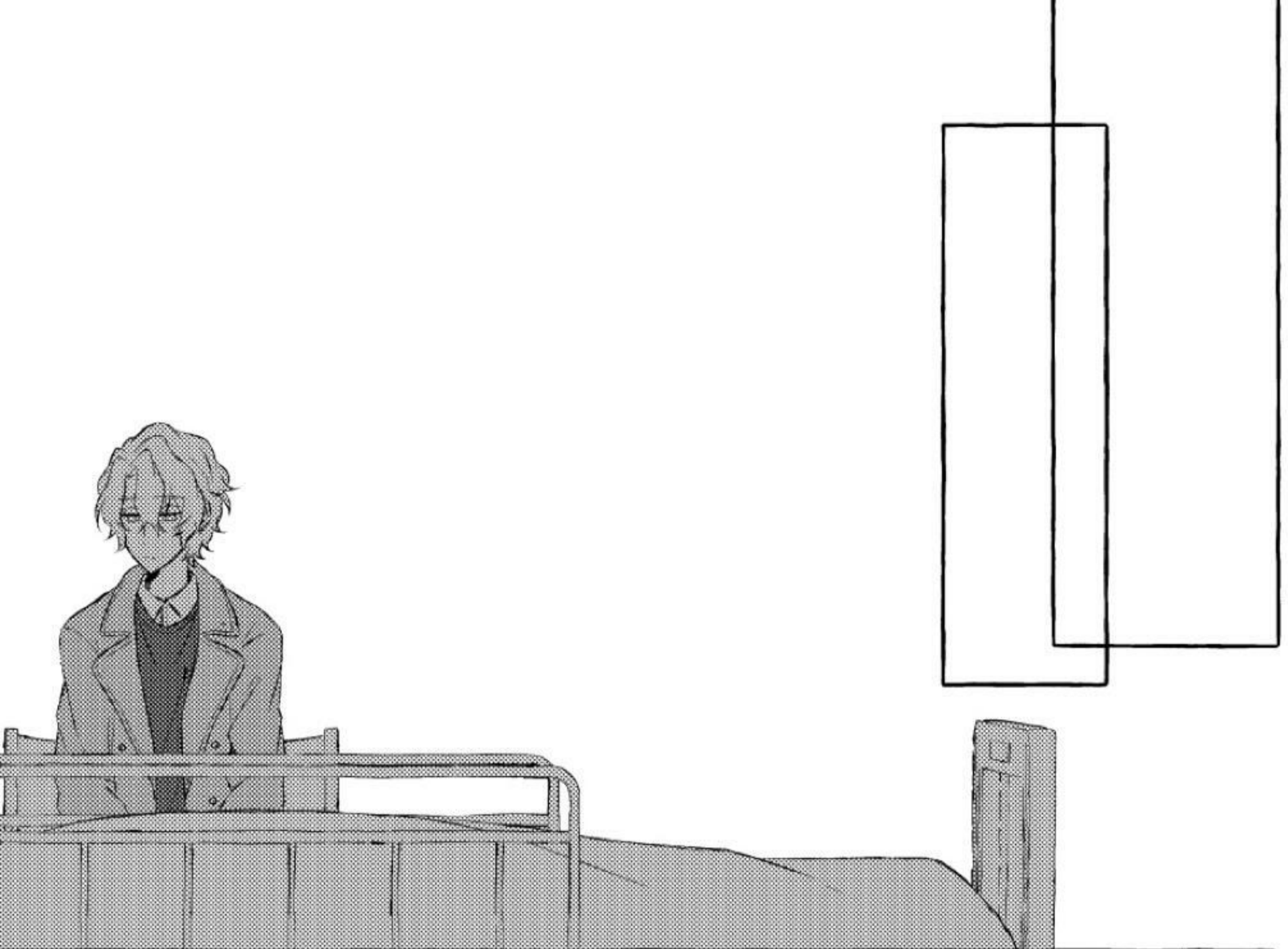


ジューンくん…!!!

失敗しないように  
生きてきたはずだった

もう一度と  
後悔なんかしたくないのに









殿下  
よろしいでしょうか

失礼します



頭の傷は軽傷だった  
みたいだね…  
今は薬が効いて  
眠っているだけ

数日後には  
退院できると  
お医者さまは  
仰っていたね



ジュンの容体は…

そうですか…

それならば今後の  
仕事のスケジュール等は  
ジュンの様子を見つつ  
調整いたしますし

直近のEveの仕事は  
Adamが代理で  
引き受けますので  
ご安心を

うん







：殿下を突き飛ばした女性ですが

ぼくが過去に  
関係を持った女性…

ってところだね？



いやはや  
さすが殿下

察しがお早い！

その言葉は  
ぼくを侮辱してる  
つもり？



殿下が夢ノ咲学院に  
在学中の頃の関係者ですね

現在はイベント会社に  
勤めているとの  
ことです、彼女

それで今回  
Eveのライブへの  
スタッフ募集に  
立候補したとかで



…どうも今回「  
ついでにはさう言われても  
しょうがないんだけど

まさか！

この件に関しては  
自分も殿下の共犯  
といっても過言では  
ありませんので





本日のライブの  
スタッフとして  
いたのは意図的に  
参加し接触を試みた  
らしく



そう



殿下に…  
個人的な感情を  
今まで持っていた  
ようです



いやああれは  
自分もちよつと  
骨が折れそうに  
なりましたよ

はは  
当時ぼくが  
持ってた連絡先を  
全部きみに  
共有したんだっけ



とはいえ  
殿下と閣下が  
コズプロへ  
入所される際に

大方自分の方で  
殿下がらみの関係者には  
こちらに一切  
干渉しないようにと

干渉した際には  
それなりの措置を  
講じるという誓約書に  
サインを頂いたんですけどね





…まあ  
そんな誓約書

ただの紙切れだと思っ  
人間だっていることは  
きみにも予想できていた  
はずだよ



そうですね  
ただまあ無いよりは  
有るほうが  
マシなんですよ

法的に必ずしも  
効力があるわけでは  
ありませんが  
有力な法的証拠の  
ひとつになりますので

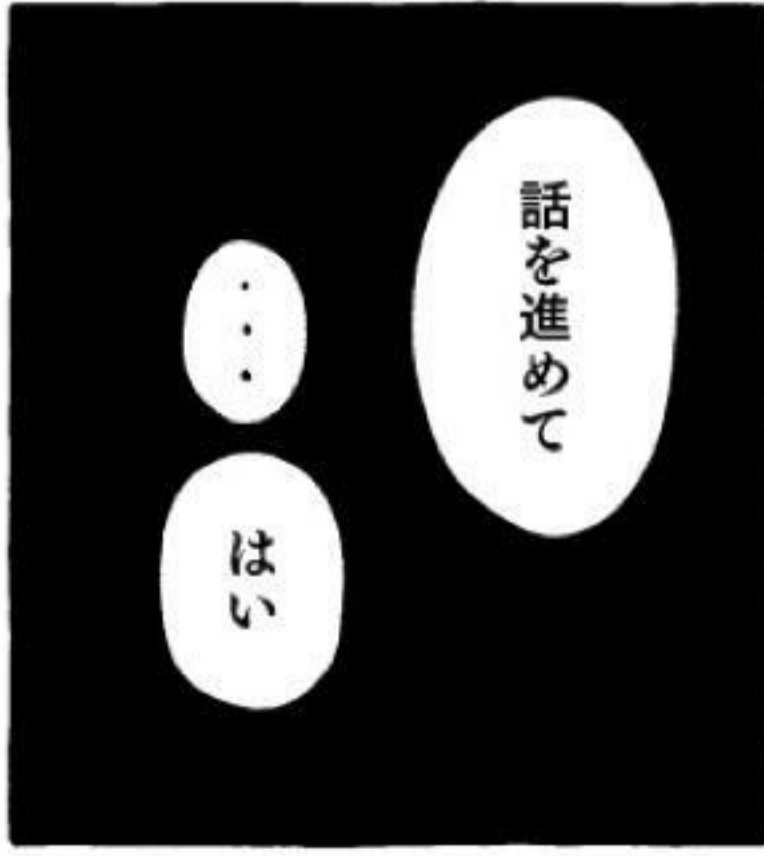


…うん、そうだね  
そのおかげで  
ぼくは随分と  
動きやすくなったし

きみにはこの点に  
関しては  
感謝しているね

あっはっは  
珍しい！

自分にとっては  
勿体なさすぎる程の  
身に余るお言葉  
ですな！



話を進めて

…

はい

今回は事務所側からしても  
大事にはしない形で  
まとまりましたし

加害者の女性も  
今は精神が落ち着いて  
かなり反省されている  
とのことですので

示談を進める  
つもりでいます





これは完全に  
ぼくの失態だね…

声を掛けられたとき  
気が付いていたん  
だけだね…

…本当は

マスコミからの  
取材対応も全て  
先手を打って  
対策済みです



茨

ぼくのせいで  
迷惑かけるね

殿下…



閣下に  
叱られちゃい  
ますな！

それに完全に処理しきれ  
なかった自分も詰めが  
甘かったということ  
で  
猛省する所存です

これもEveやEdenを  
守る為の自分の仕事  
ですの！

いいえ  
とんでもない！









全部  
ほくの軽率な  
行いのせい

そのせいで  
大勢の人に迷惑を  
かけてしまった

茨や風砂くん  
周りのスタッフ

そっか



ジュンくん  
ごめんね……



過去の行いで  
ほくに罰が降りかかるなら  
全て受け入れられる

けど

きみが巻き込まれる  
必要なんで  
これっぼっちも  
なかったのに……

あれ……













そういうの…  
やめてもらえますか？



え？  
だ、だってきみが  
無事で安心して…



あんたが  
オレのために泣くとか  
信じられねえんすけど…  
馬鹿にして  
笑い飛ばしながら  
泣くとかならまだしも…




そんなこと言って  
オレが死んでも  
代わりはすぐ  
見つけるんでしょ？



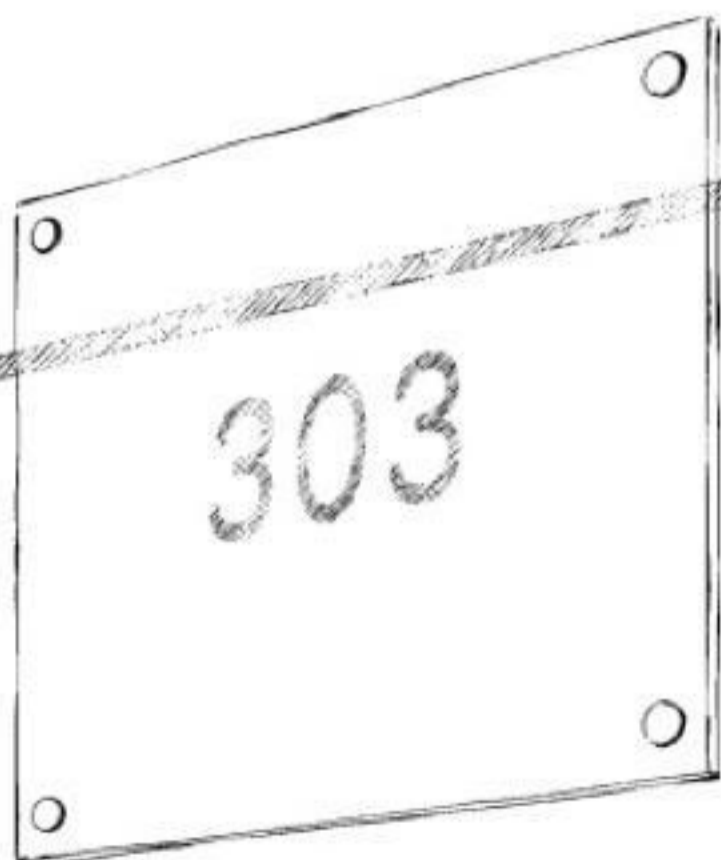
はは  
オレが無事で  
安心した…か…





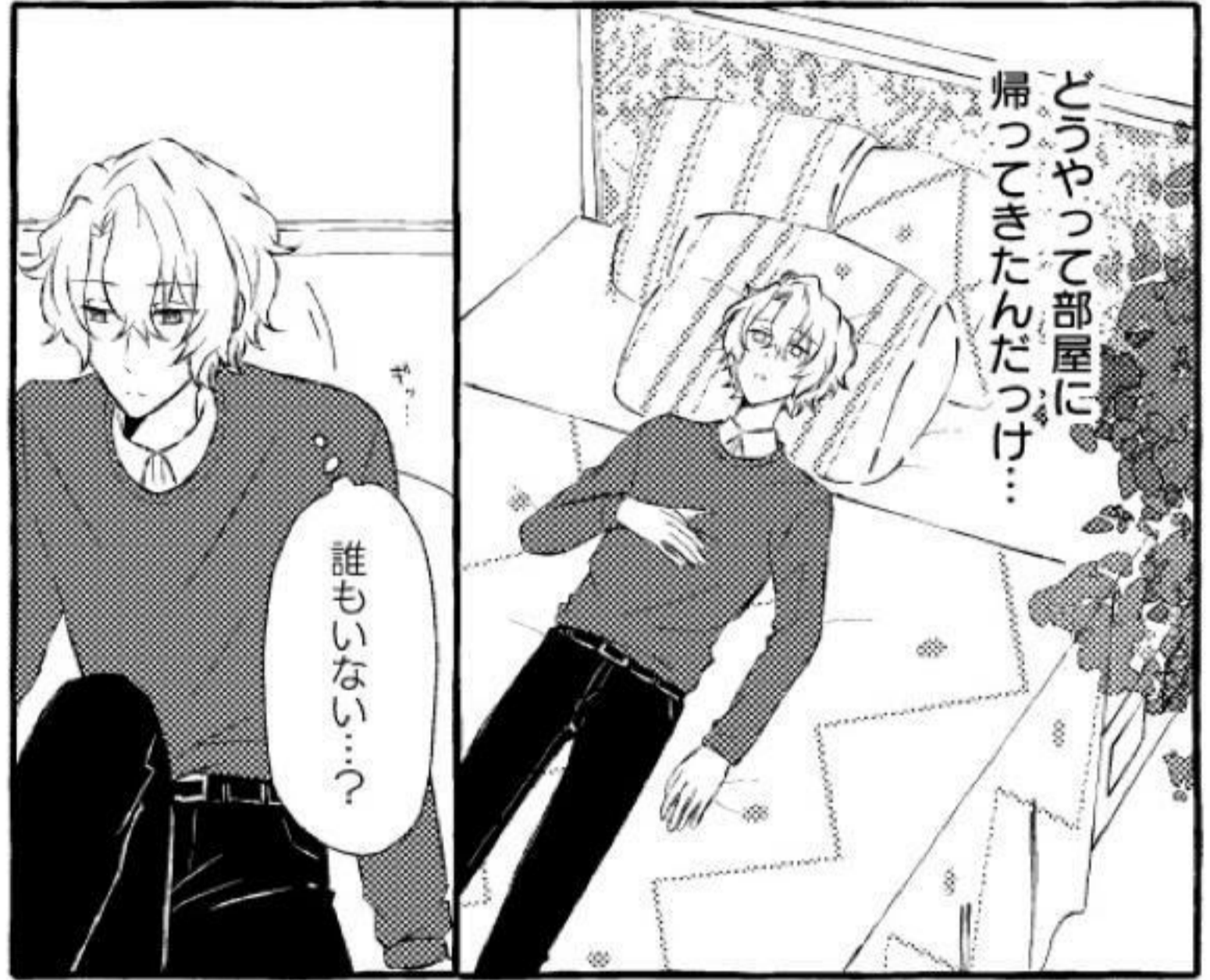
すみませんけど  
今日は帰ってください

付き添って  
もらったみたいで  
ありがとう  
ございました



何が起ったのか  
分からなかった







ジュンくんの  
悪い冗談…？

ううん  
そんな表情じゃ  
なかったし

なにゆりそじいじのは  
嫌いな子だったはず…

まあぼくが  
ジュンくんの何を  
知っているんだって  
話なんだけどね



ああ  
ドライフラワーに  
しめつと思って  
そのままだったね…

カヤ…











おひいさんっぽいんで

この花

あんたが  
持つてるほうが



より綺麗に  
見える

照れくさそうに  
この花束を渡してきたから  
すぐ気が付いた



ファンの子から  
買っただなんて嘘

自分で選んで  
買ってきたんじゃ  
ないのかなって



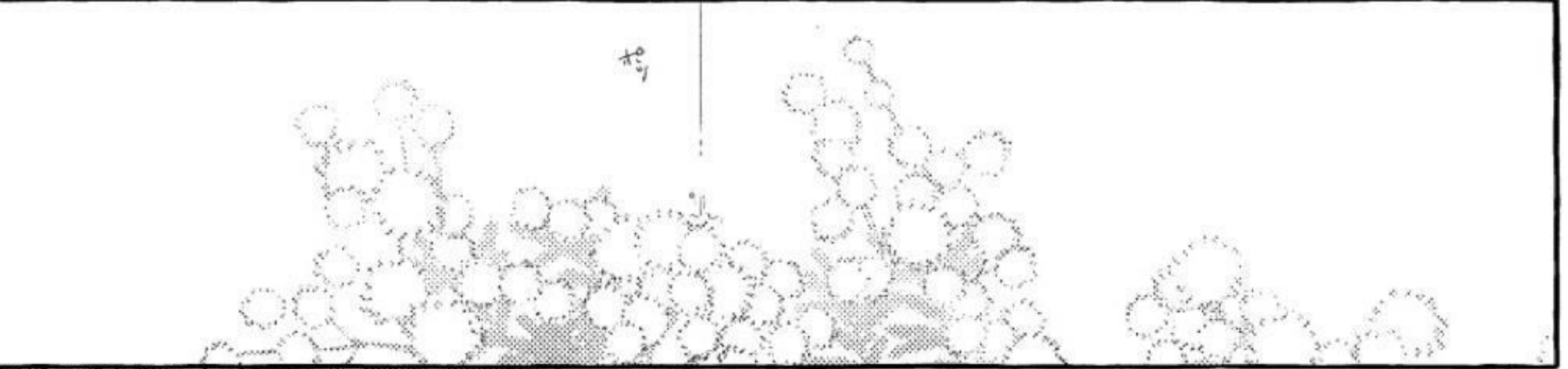


冗談だって

嘘だって

苦手な子…な  
はずなのに…

うう…







何を泣いてるの！  
うーっ！

!?



ちま。

全くもうっ  
このぼくが目に入らないだなんて  
失礼しちゃうね！

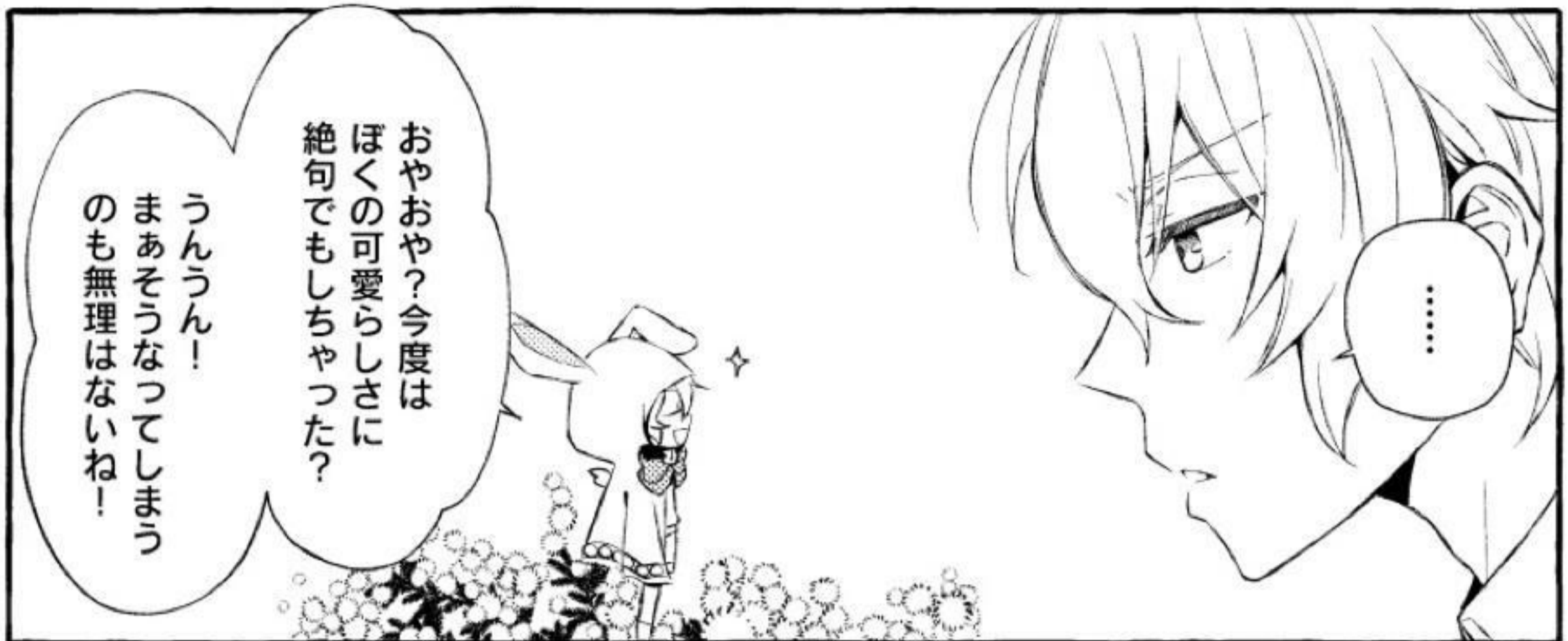


声んなにっ？  
どっがらにっ？



こっちだね！





おやおや？今度は  
ほくの可愛らしさに  
絶句でもしちゃった？

うんうん！  
まあそうなってしまう  
のも無理はないね！



ぼくは  
きみだね！

は？











見えてないのかな…









つまり  
過去の行いからの  
酬い

不相応なのに  
他人に『愛』を求めて  
しまったが故の結果…  
だね

何…？

あははっ  
その表情は何も  
わからないっていう  
顔？

それとも

心当たり  
あるのかね？



家からの  
しがらみ

自分が行ってきた  
数々の行為

その末に他人に  
『愛』を求めることに  
制約を課すと決めた  
きみは

それ以降自分自身で  
セーブをかけていた

これ以上他人の心に  
踏み込まないようにってね

でも求めて  
しまった

ジュンくんに

『愛』を





だってきみは彼の気持ちには応えてあげることができない

そんな相手に『愛』を求めるだなんて身の程を弁えてなさすぎの大馬鹿者だね

そんなことは……!

そうだね



ちよっといろいろ言いすぎじゃない?

厚顔無恥?

ん？  
どういうの  
なんて言うのかな



彼のこゝろ

ただ単に『傷ついた自分を慰めてくれる相手』だなんて思っていないよね?

でもきみの人格からの発言なんだけどね

ごめんね





ぼくには...

そんな資格



愛されたいんだよね？  
ジュンくん



駄目...  
この気持ちは...  
ぼくが死ぬまで  
彼には伝えない  
つもりだね



ジュンくんのが  
好きなくせに



...それでも  
きみは

ぼくは

兄上が

家族が

大好きだ

『愛されたい』と  
願っている



ぼくの兄は「優秀」だ

幼いころからぼくは  
兄に勝ったことはない

ほんの少しの間を  
除いては

どうしておまえは  
弟のくせに

いつもおれより  
みんなにたくさん  
褒められるんだ！

大好きだった兄上

どうして…  
どうして!!

その言葉は  
幼かったぼくでも  
すぐに理解できる程に

悲痛で純粋な

混じり気の無い  
叫び

これ以上  
嫌われたくない  
だからぼくは  
ひとつの生き方を  
選んだ





この先も  
自分は兄の邪魔に  
なつてはいけない

だから兄よりも  
劣らなければ  
いけないと

自分を  
殺さなければ  
いけないと

自ら捨てたんだ  
家族からの『愛』を



…日和くん







君のことだから  
僕のお金っていうだけで  
虫唾が走る気持ち  
なんだろうけど

ちゃんと使って  
あげているんだから  
感謝してほしい  
ぐらいだけどね



やっと捉まったと思ったら  
僕が渡したお金をほとんど  
使い切っちゃったのかい？



どうせ低俗的で  
くだらないパーティでも  
毎晩開いてるんだろう？



まあ  
いいけどね…

ちゃんと契約通りに  
協力さえしてくれれば

ぼくたちは…  
手を取り合って夢を…

「自分を殺したぼく」が  
「ぼくらしく」いられる場所  
だと思っていた

「アイドル」は

夢の為に駆け抜けて  
いるはずだった







なかつたのかな…

アイドルになる夢を  
目指していたわけじゃ



ねえこのあと暇？  
抜け出さない？







毎日酷いストレスに  
殺されそうだった

全部全部  
自ら選択した結果

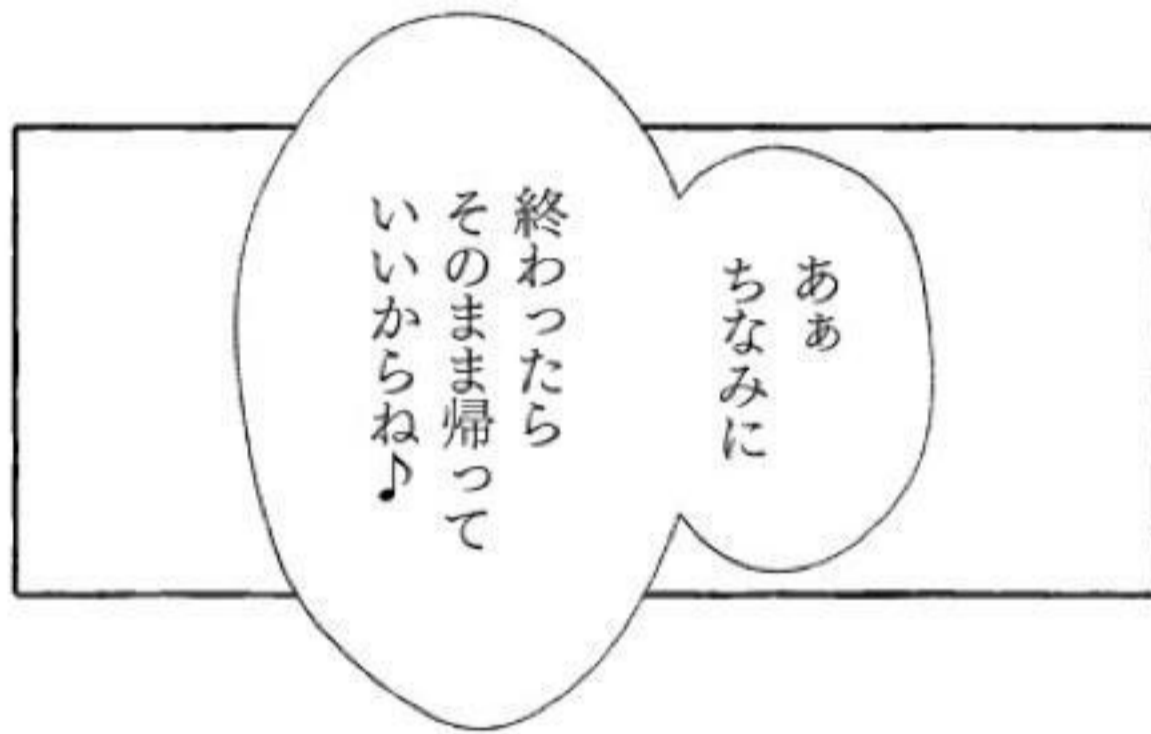
fineでの活動

実家での立場



『愛』が足りなかった

『愛』してほしかった



一晩だけの  
関係なんて

強要した  
愛なんて

全然満たされるはず  
ないのに





日毎夜毎  
言いたくもない言葉を  
笑顔で他人に吐き

自分自身で傷つき

それを「誰か」に  
慰めてもらう

でもこれは  
今の自分にとって一番  
都合の良い方法

基本的には  
自分を下げることよりも  
兄の評判を上げ



その代わり  
表舞台では完璧な  
パフォーマンスを  
披露することで  
アイドルとしての  
価値は上がる



そんな  
相乗効果で  
結果、家が活気を  
取り戻すのなら





大丈夫ですよ  
おひいさん





ある日を境に  
『誰か』に自分の欲を  
強要するのはやめた

でもどうしたって  
心を傷つける日々は続くし

最初は気まぐれで拾った  
ジュンくん

アイドル活動のついでに  
ただ傍にいてくれるだけで  
よかったはずなのに

彼はぼくが  
望んだ以上のものを  
いつもくれる

ぼくはいつの間にか  
彼の優しさに  
甘えてしまっていた



好きです







最低だ







全然  
眠れなかった……



やあ  
珍しいね



いつもヘラヘラと  
能天気な笑っている君が  
眉間にしわを寄せている  
だなんて

とてもじゃないけど  
人前に入る職業の人間とは  
思えない顔になっているよ

日和くん



昨日突然ぼくの  
目の前に現れた生物(?)は  
言いたいことだけ言って  
そのまま消えてしまった

あくもう  
悪い日和……





…英智くんは  
うちの子のことは  
関係ないはずだね

漣くん

大変な目に  
あったんだって？

…ふん

うわ



まあ事務所単位で  
みればそうなんだけどね

Edenは  
ES全体にとって  
とても強力で強大な  
ユニットだから

活動に支障が出てきて  
しまう状況なら  
僕も考えなければ  
いけない



大丈夫

そこらへんはうちの  
茨がいろいろ手を  
回してくれてるね

ああ…七種くんは  
まだ若いのに  
頑張るよね

こんな僕が言うのも  
なんだけれど

老婆心ながら早死にして  
しまふんじやないの  
かなって心配だよ

ぼくは  
多忙なんでね

呑気に雑談をしに  
きたのなら  
お引き取り願いたい  
んだけどね

あはは











えっ!?

きみにも  
見えてるのっ!?

やだやだ〜っ!  
離して  
ほしいねツツ!!



あははり  
話し方そっくり

.....



僕も体質的に  
現れて  
いたんだよね

へえ  
日和くんのは  
うさぎさんなのか

ふふ  
可愛いね



体質的...って

どうなんだっ...

トッ...





うん  
ご存じ…かは  
知らないけど

僕は僕なりに日々  
周りからのストレスに  
圧迫されている日常を  
過ごしているわけ  
なんだけれどね

最近はずちのメンバーから  
休暇日イベントなるものを  
贈ってもらったおかげで  
だいぶ精神的負担も  
楽になったんだけど

『それ』と似たような  
ものがね

ちょっと前までは  
僕にもよく  
現れていたんだ



…英智くん  
岩石に頭でも  
打ったの？

もしくははいよいよ  
悪意ある人間から  
幻覚作用のある毒薬でも  
飲まされたとか…？

へそで茶を沸かす  
ような話だなあ

もしそうなら君も  
頭を打ったはずだし  
毒薬を飲んでる  
はずだよ

冗談をそのまま  
返さないでほしいね

はいはい

話が逸れそう  
だから戻すよ





体質：まあつまり  
ストレスやそれに似た  
精神的負担を感じた際に

ある特定の条件を  
満たした人間に対して  
現れるみたいだよ

初めて見たときは  
さすがの僕も  
引っ繰り返りそうに  
なったからね

お医者様に相談しに  
行ったわけだけど

日常に大きな支障が  
出るわけでもないから  
問題無しということ  
特に治療もしなくてね

ある特定の条件とか、  
治療もしなかったとか

全く持って  
胡散臭い話だね

胡散臭くないのは  
現状目の前にいる  
『それ』が証拠さ

ねえねえ！  
紅茶にお砂糖  
入れちゃっても  
いいよねっ？

〇〇〇

ぼくはこんなに  
キヤーキヤー  
喚かないねっ！

煩いのは『それ』が  
日和くんだから  
だろう？

ええ…

…いちいちぼくに  
語り掛けてきて  
煩いんだよね  
『これ』

どうにか  
ならないの？

煩いだなんて  
失礼だねっ！

…とにかく

この小さいものと  
お別れする手段は  
ただひとつ





いつまでも  
自分自身に向き合わず

何が枷になって  
いるのかに目を向けず



ドロドロと溶け込んで  
形が無くなってしまいう前に



自分の精神的負担に  
なっているものを  
払拭すること





君の場合…  
そうだね

タイミング的に

漣くん絡みが  
大きいのかな



…と

僕が話したかった  
のはこれだけ

忙しいなか  
貴重な時間を  
ありがとう

あとは  
頑張りなさい  
日和くん♪



英智くんはいつから  
ぼくに対して  
上から物を言える  
立場になったわけ？

これに関しては  
僕のほうが先輩  
だからね♪

昔からのよしみとして  
困ったことがあれば  
相談ぐらいは乗るよ

その代わりに  
それなりに対価を  
支払ってもらおうの  
だけれど

言うとな  
思ったね…

……日和くん

凧砂くん  
どうしたの？

あれ

……あ…  
英智くん  
こんにちは

こんにちは  
凧砂くん







……日和くん

これから茨と  
ジュンのお見舞い  
に行く予定なんだけど

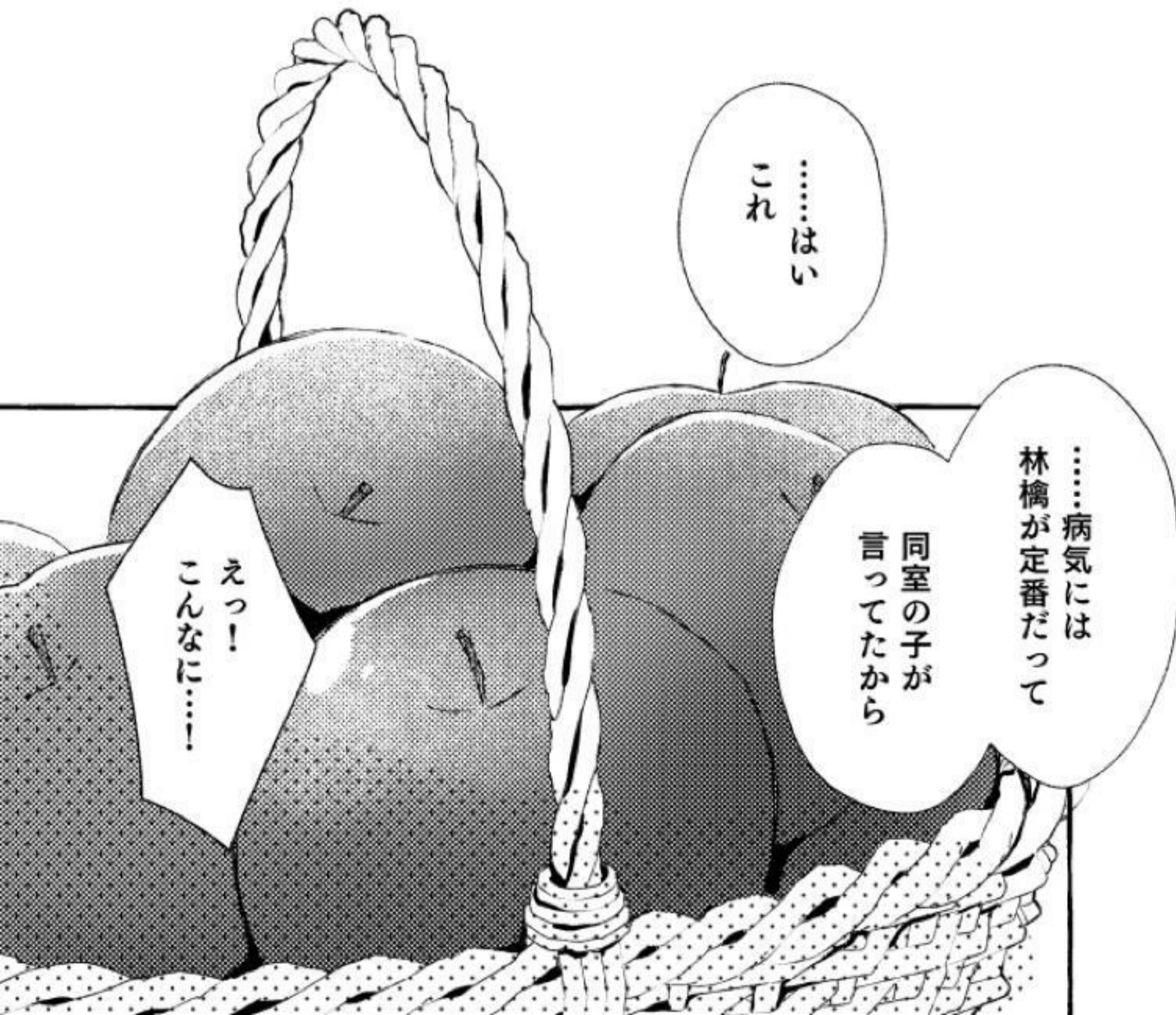
一緒にどうかな

そっか…

うん



それじゃぼくも  
一緒に行くね



……はい  
これ

……病気には  
林檎が定番だって

同室の子が  
言ってたから

えっ!  
こんなに……!













オレもあんまり  
学生生活に  
良い思い出は  
ねえんで

正直卒業式すらも  
欠席したい  
くらいですよ

ふうん…  
なんだか  
寂しいね



…え？



ほかに何が  
あったのかなって

たしかにこうやってEveや  
Edenの一員として  
やらせてもらう前の頃は  
簡単に笑い話には未だに  
できねえ環境でしたし

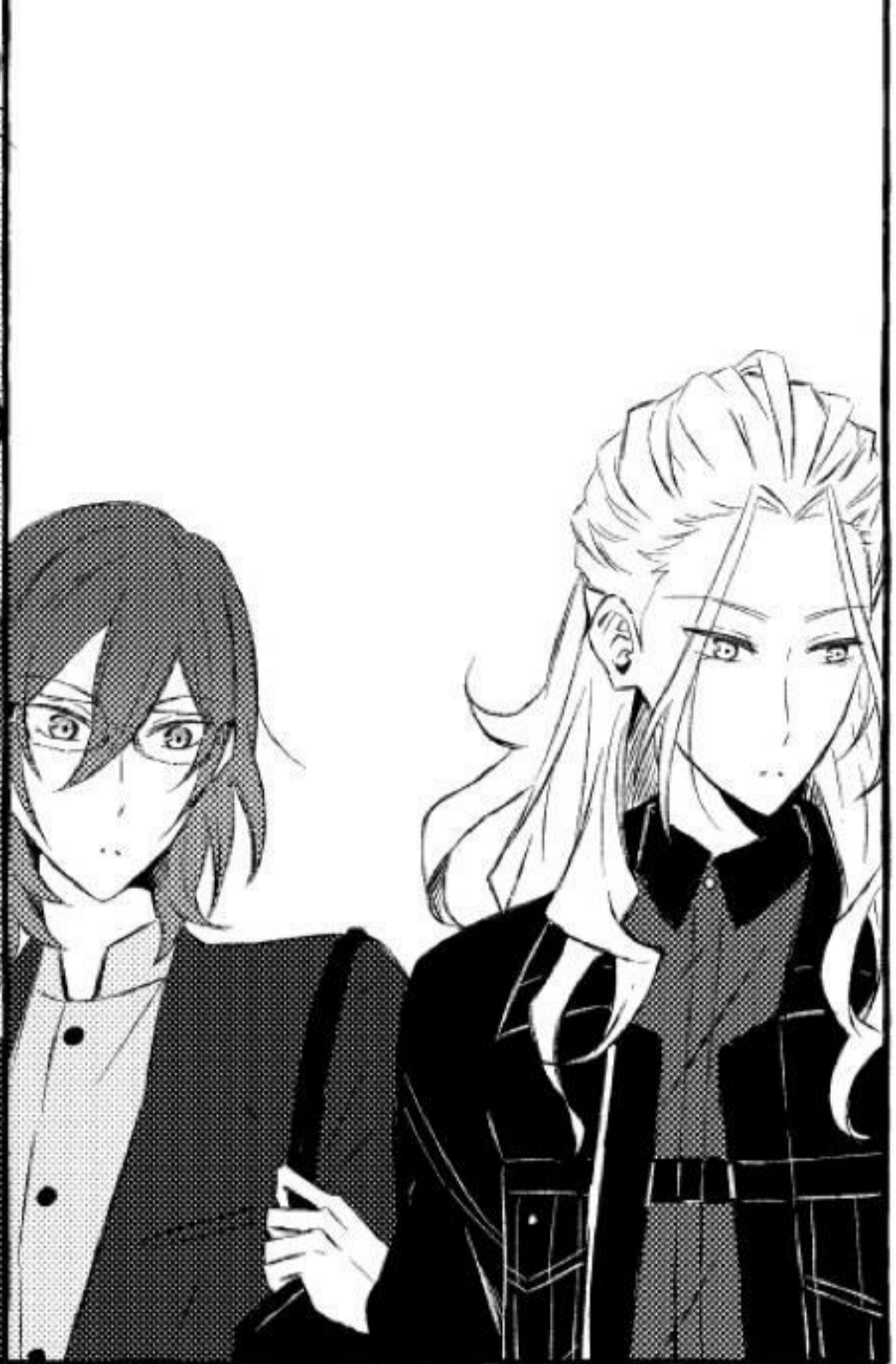
その後もしばらく  
学園内じゃ浮いた存在では  
ありませんたけど

そんな中でも  
アイドルとしてやっていける  
実力や自信だっつついたのは  
実感してます

でも  
なんか







ジユン  
あなた...

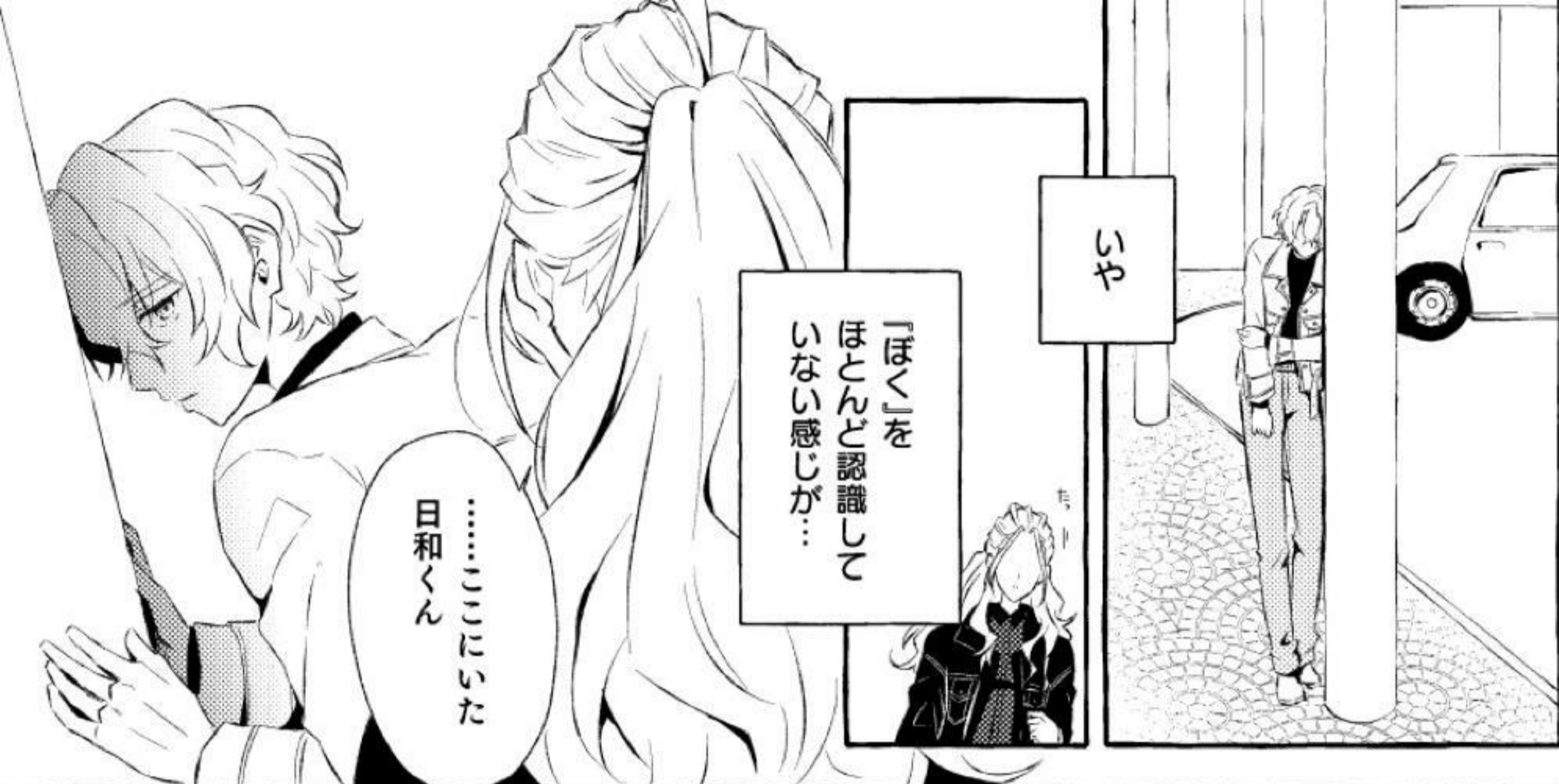


.....  
日和くんは  
私に任せて









「ぼく」を  
ほとんど認識し  
ていない感じが...

.....ここにいた  
日和くん



ぼくもう  
どうしたら  
いいのかわ...



な  
風砂く...



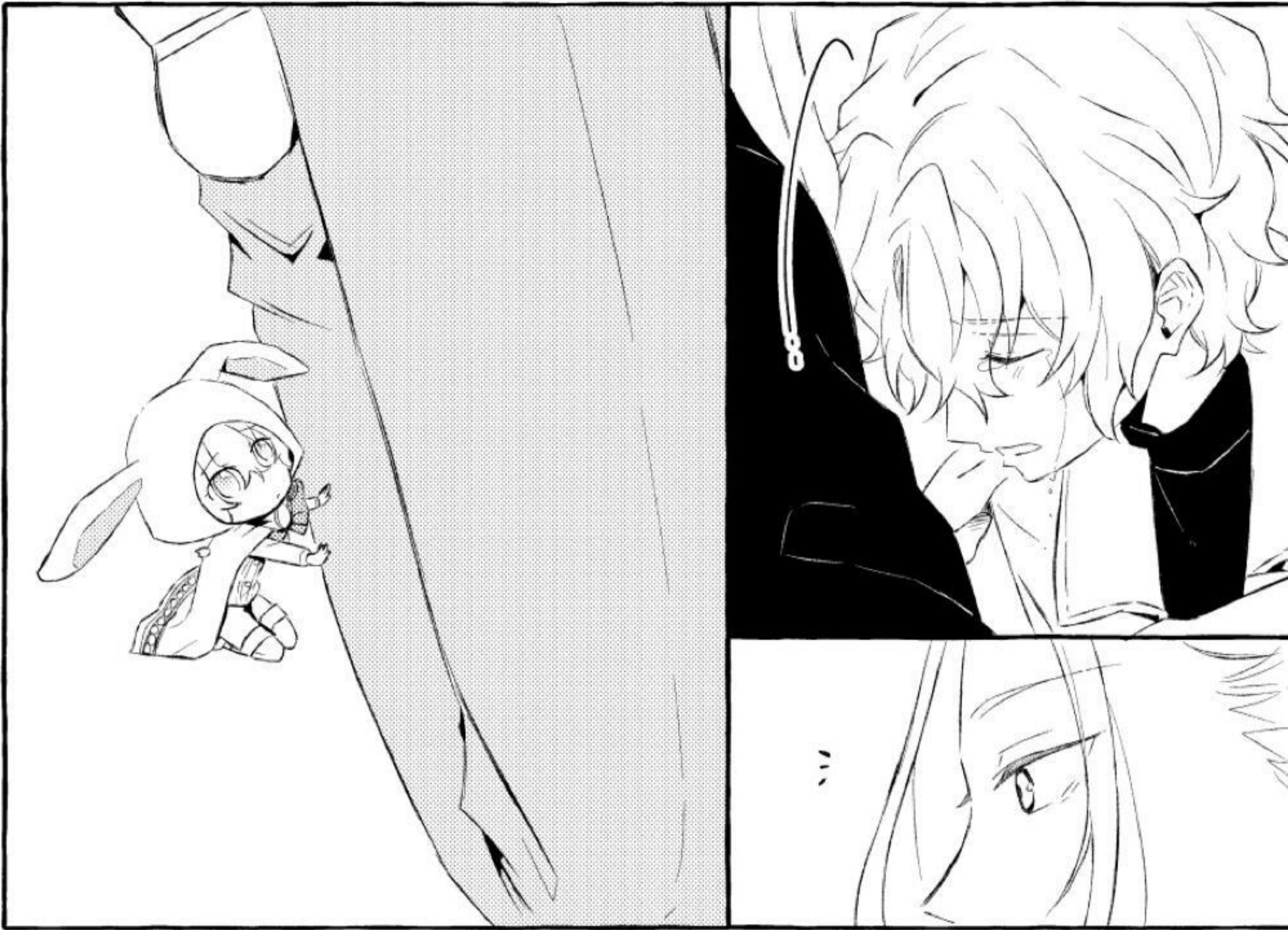
ジュンくん  
が...

.....うん



.....ここにいると  
辛くて哀しい感情の  
波に巻き込まれてしま  
うしかないから  
私と一緒に  
帰ろう





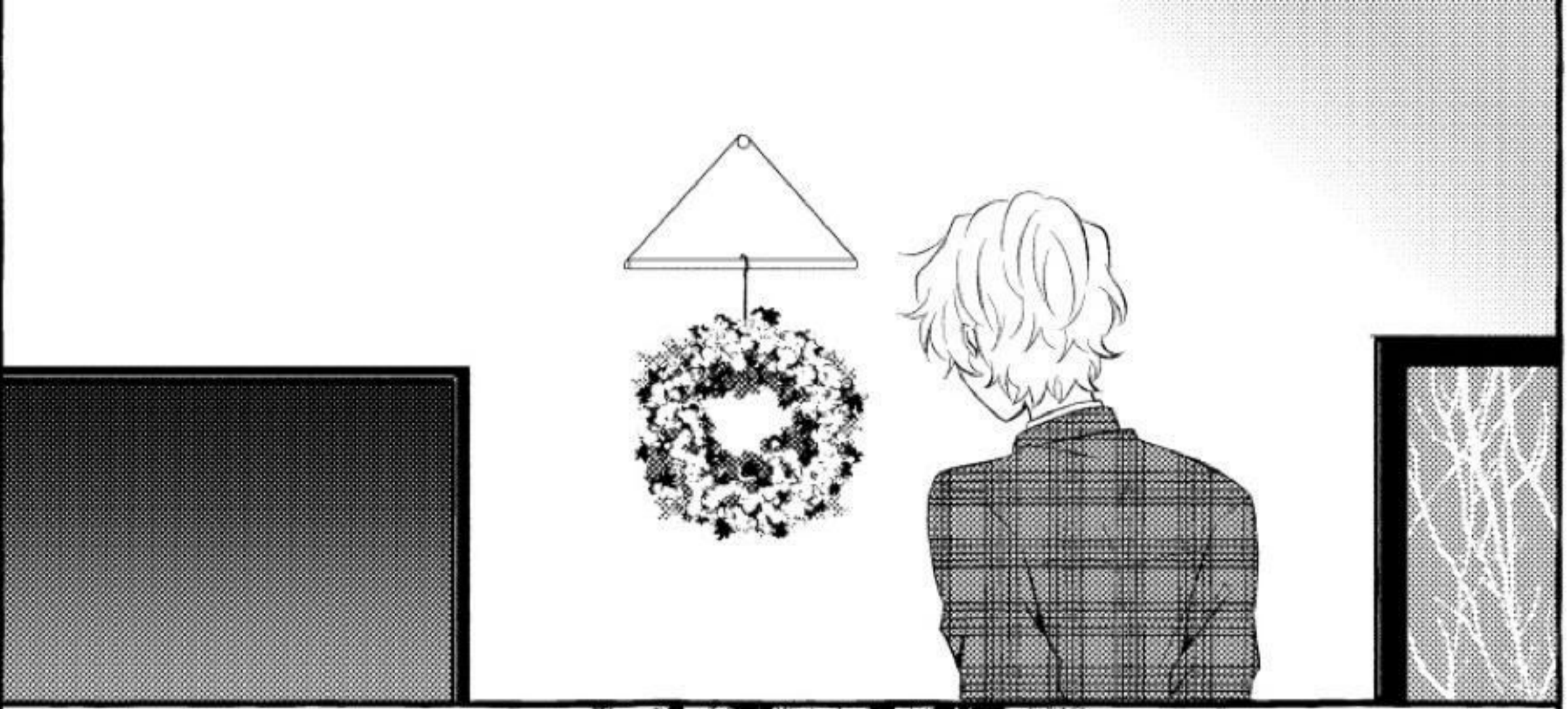
ジュンくんの  
ぼくに対する言動は

自分がいつも  
他人へ向けて  
起こした態度の  
結果じゃないかって

気が付いたのは  
凧砂くんと寮へ帰って  
落ち着いてからの  
ことだった







ジュンくんはあれから退院し、何度か二人で仕事をするこゝもあつた

端から見れば「いつものEve」のようなので

仕事や日常にはさほど影響が無かつたのは幸いだつた



寂しくなるから

仕事以外でジュンくんと顔を合わせることは控えていた

さて…この後どうしようかな…  
風砂くんにも声を掛けて…



おっ  
ジュンジュン！





おひいさん  
いますか？



ああやっぱり  
部屋にいたん  
すか  
あんた電話にも  
出ねえしさ



…えっ

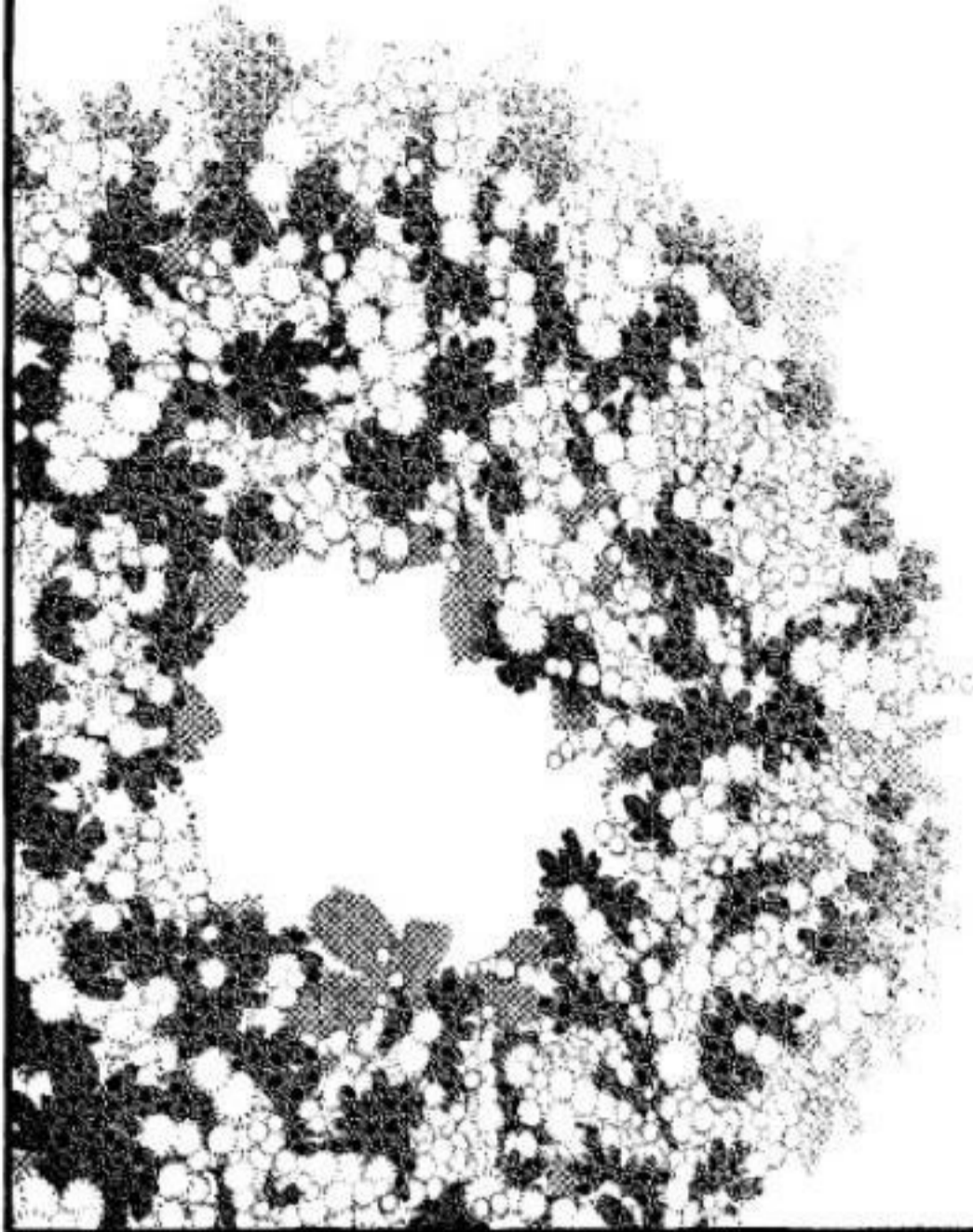


ちょっと今度の  
仕事について  
打ち合わせを  
お願いしたいん  
ですけど…









その花  
なんですけど



え？

…それ



そうすか…

ファンの子から  
貰ったものだね



おひいさん  
っぽいなって  
その花



何？

いや…別に大した  
ことじゃねえん  
ですけど



おひいさんっぽいんで、この花



一步  
頑張つて踏み出して  
みない？



できるのかな  
ぽくに

今までぼくは  
人に対して自分から  
距離を置いてきた

二度と失敗したく  
なかったから



その結果  
ジュンくんからの  
愛情すらも手離して  
しまったこと  
なってしまった











ジュンくんは  
愛されたいのかは  
わからない

昔のくせで  
ただ寂しさを慰めて  
ほしいだけなのかも  
しれない



仲良く  
お話がしたい

きみとまた

でもほくは



そう、  
思ったんだ




こうなってしまったのは  
自分への酬い？

ねえ、自分が招いた  
結果であるなら  
この場合はどうだろう

彼が事故に遭ったことも  
彼がきみへの愛情を失ったことも

ぜんぶ最初から『ぼく』が  
仕掛けたことだったとしたら





だって『ぼく』は  
『きみ自身』なのだから

幸せにならない世界を  
望むはずないよね





でも結果的には  
大丈夫だったね

だってそりゃ  
寮母に見つかったら  
どうなるかって  
そればかり  
頭にありましたよお…



ああ  
ブラッディ・メアリを  
初めて寮室に  
連れ帰った日はね

きみはずっと  
落ち着かない様子  
だったよね



たしかに  
こいつの顔見ると  
こっちまで良い気分  
になっちまいそうすね

はは



今もほら  
あんなにも最初は  
人間に対して  
怯えていた子が

こんなにも優しい  
顔をして  
眠っているね



あれからぼくは  
時間があれば  
ジュンくんと会話を  
するように努めた







もちろん  
少しの会話だけで

今までのような  
ジュンくんが  
戻ってくるだなんて  
思わない



はあ…  
野良犬って…

そりゃ最初は  
信用してません  
でしたからね…

ぼくのこと？

…まあ

ジュンくんは  
最初は今にも  
噛みつきそうな  
野良犬だったね♪

…!?

ばっ



最初はって  
ことは

今は？

え…











残念に思った？  
あわよくば  
今までの  
ジュンくん  
戻ってくれたら  
いいのにつて



少しずつだけど  
ぼくの方をちゃんと  
見てくれるように  
なってくれただけで  
十分だね

そんなことないね



ふうん…



そう  
今はこれで  
十分すぎるくらい



いつまで  
心のセーブを  
かけている  
つもりなの？

これ以上を  
望む方が  
烏滸がましいね





大丈夫

確実に良い方向へ  
進んでいっている

明日も...また...



クワッ



疲れてるのかな...

駄目...最近  
やけに眠いね...

おひいさん  
ちよっとは  
手伝って  
くださいよお



ってシカトかよ...  
別にいいけどさ...



えっ...



おひいさん!?







でもちゅこ  
嬉しいね.....



ナギ先輩が  
通りすがってくれて  
助かりました





……ああ  
といても  
ジュンには  
見えないのか……

……？



……うん  
寮に帰って  
きたら

『この子』が慌てて  
飛びついてきたから



……ジュン

はいっ？



……困ったな……  
どう説明しよう

え……と……



……今からどうして  
日和くんが突然  
眠ってしまったのか  
説明するのを  
試してみるけど

分かり難かったら  
ごめんね



……はい



……日和くんは今  
明確な治療法が  
無い病に冒されてる  
んだけど



……大丈夫  
心配はいらない  
から



……これはかつて  
夢ノ咲学院で  
共に手を取って

夢に向かって  
邁進していた人間に  
現れる症状



……原因は  
大義を果たした分の  
代償

……所謂  
等価交換  
みたいなもの



……日和くんは…  
ううん

『私たち』4人は…

過去、学院革命の為  
大義を果たした分

大切なものを  
差し出し

失った







それぞれ形は  
違うものでは  
あるけど

……そして  
日和くん

つむぎくん

英智くん

私

……それは

……これは予想でしか  
ないけど

日和くんが差し出した  
代償は恐らく

「人に愛されたい」  
気持ち



なかなか  
複雑なもの  
だったから……



……私が知る限り  
日和くんの家庭は











…何か、  
思い出すことはない？

君  
彼を見てきたのは

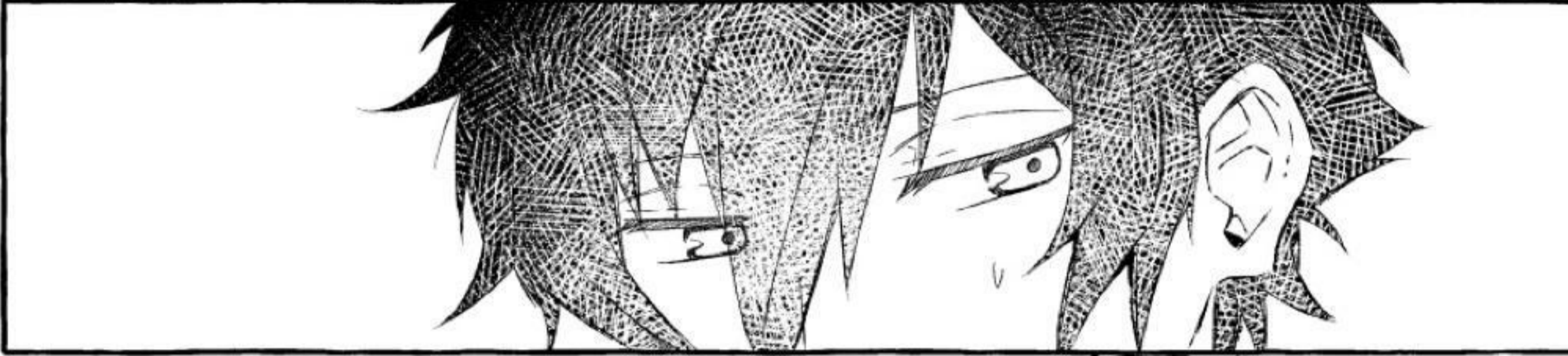
…いつも  
日和さんの傍にいて



え…オレ  
ですか

ジュン

…本当に  
わからないんだね



それから…？



…すみません…



んなこと急に  
言われても…

オレは毎日  
おひいさんの  
我が俣に付き合っ…

無茶苦茶な…でも  
確実に実力になる  
課題を課せられて…

それから…えっと…





……急に眠って  
しまったのは単純に  
キャパオーバー



……ううん  
ごめんね  
これは  
意地悪な質問  
だったかも



……だけど…  
私は思うんだ

『愛されたい』  
という感情は…

人間にとって  
当たり前…  
なんじゃないの  
かなって

我慢する必要なんて  
無いはず



……差し出した代償…つまり  
『人に愛されたい』望みを  
セーブしてたはずなのに

望んでしまった分が  
溢れ出て…

無理をして疲労が  
溜まったんだと思う





つか  
めちやくちや  
詳しいんすね

ナギ先輩…



なるほど…?

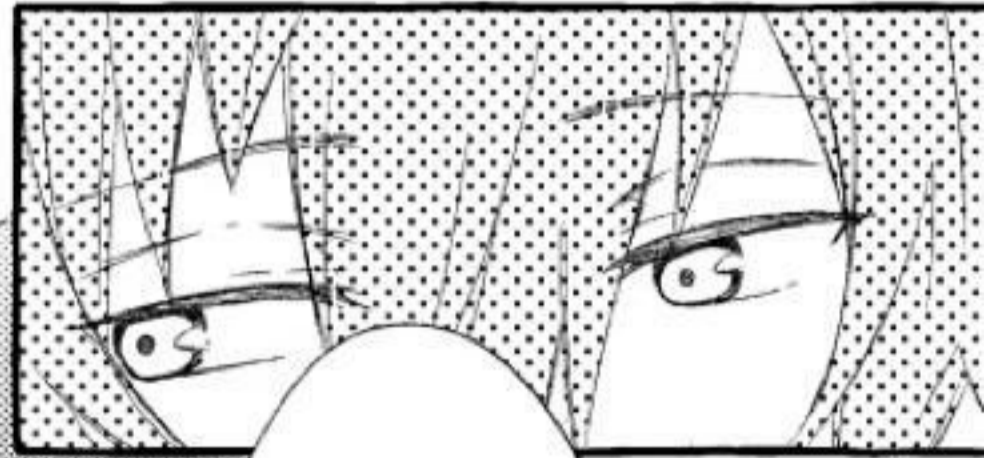


……うん  
私も適合者だから



とりあえず  
ありがとう  
ございました

オレ馬鹿なんで  
話の半分も  
理解できてねえかも  
なんですけど…



ひとまず今日は  
このひと部屋に  
送って

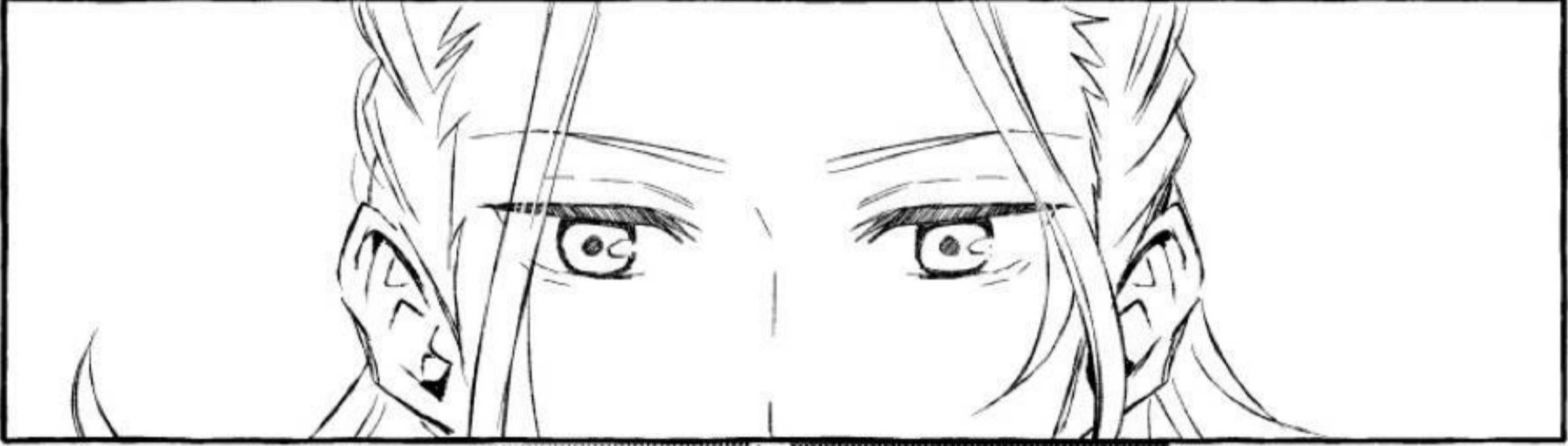
オレも自室に  
戻ります



おひいさくん  
いつまで寝てるん  
すかあ〜?

……









……何？

……

盗み聞きだなんて  
趣味の悪いこと  
とんでもない！

……閣下

差し出がましい  
ことをしてるのは  
重々承知の上で  
お聞きしたい  
のですが

……わざと  
言ってみただけ



……私は当時  
今以上に感情に  
疎かった影響で……

何を差し出したのかも  
記憶にないんだよね

だから日和くんのような  
自分自身の分身にも  
出会ったことがない



自分には俄か  
お伽話のような  
感じではありますが……

閣下が差し出した  
代償……とは  
何なんですか？

……秘密



……なんてね

……はあ



分身…？  
もうわけがわからなくな  
ってきましたよ…

…そうだね  
この世の現実と  
空想の境界線は  
誰にも見えないから

線を引くのは自分自身

空想の中に  
閉じ込められないで

日和くん…







はあ

はあ

……もしもし……

はあ

……わかりました



でもほくは……

家族が大切だから……



というか  
身体がだるい……

いつ部屋に  
帰ってきたん  
だっけ……

たまにかかってくる  
実家からの電話

内容は決まって  
家業の手伝いの要請

家族だから  
顔が見たいだとか  
声が聞きたいだとか

そんなこと  
今まで無くて



最近このパターン  
多すぎだね…まずい…

今日がオフで  
良かったね…

とりあえず  
お風呂に入りたい…

あれっジエンジエン  
こんな朝っぱらから  
日和ちゃんに用事？

昨日も背負って帰って  
来たっていうのに



あー、はは…

用事っていうか  
ちゃんと起きられたん  
かなって思っ

はア  
甲斐甲斐しいねエ

日和ちゃん

あ  
起きてる



おはようございます

…おはよ…

え  
ジエンへん!?







オレこのあと  
卒業式なんで  
このまま登校します

おひいさん  
卒業式に参加するから  
今日のスケジュール  
空けたんすよね



えっ！

あ

う、うん

うそ…  
完全に頭から  
抜けてた…



…体調大丈夫っすか

あんま良くないなら  
無理しなくても

ううん  
大丈夫！



最近ジュンくん  
に掛かりつきりだったから  
忘れかけていたけど

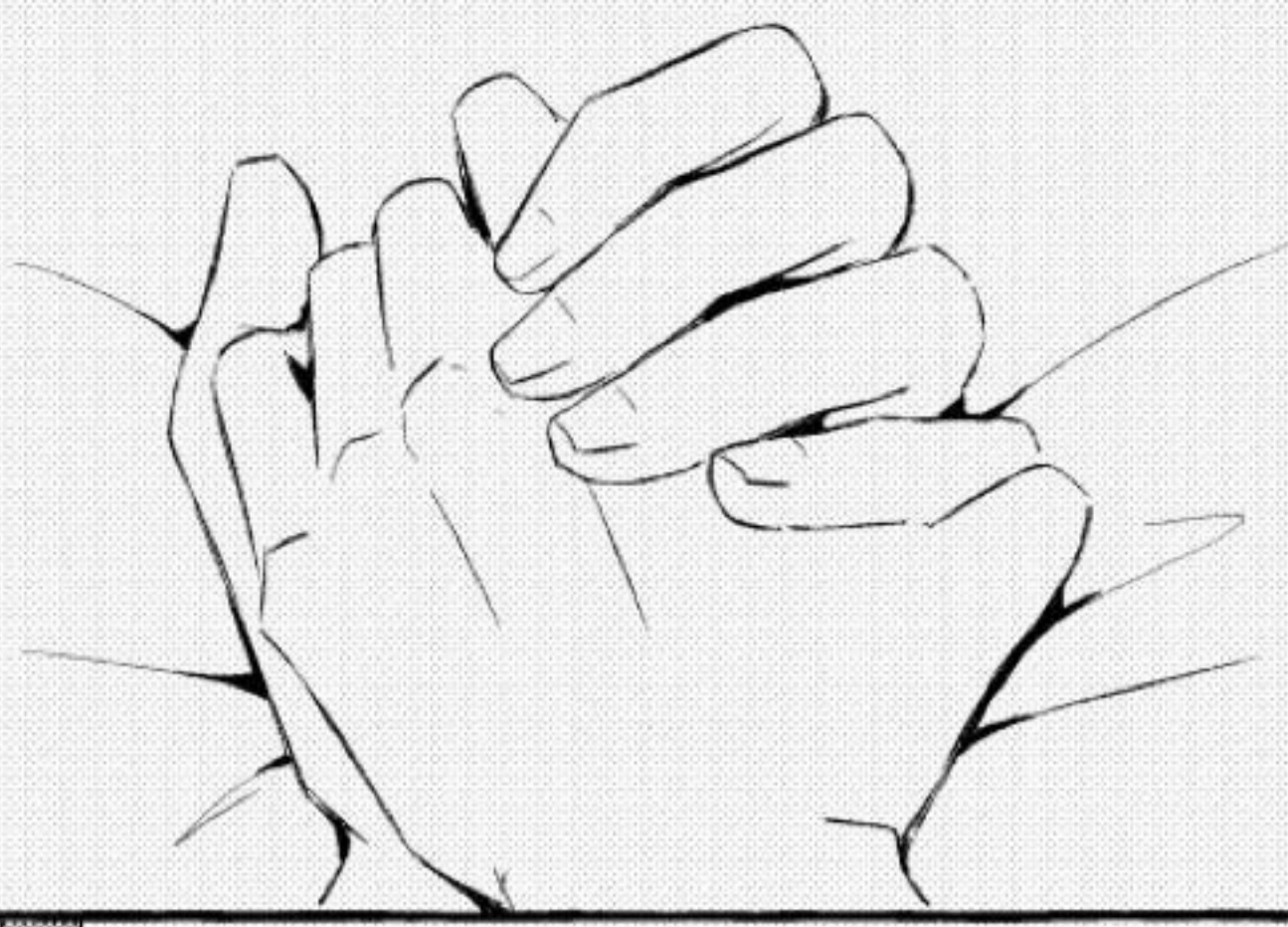
大丈夫  
ほくがやることは  
いつも変わらない

吐きたくない  
言葉を吐いて

傷ついて

そして









まあオレがブツ倒れて  
その次にあんたまで  
ブツ倒れたら  
シャレにならねえんで



しっかりして  
くださいよ



駄目

もうジューンくんは  
甘えられないんだから

しっかりしなへんやあ…



しっかり…  
って何なんだろっ

しっかり生きてきた  
はずなのに

たくさん過ちを  
犯してしまって

拳句の果てに  
きみを酷い目に  
合わせてしま



それでも抗えない現状に

心が押し潰されそう



そんなこと

わかってるね



ジェンくんのおかげに  
生意気

そもそもきみは  
ぼくの言うことだけ  
聞いていればいいね



いろいろ偉そうに  
言える身分じゃない  
ってこと

今一度弁えて  
ほしいんだけどね









そんなこと  
言っていない!!



いや...  
同じこと  
でしょうが...

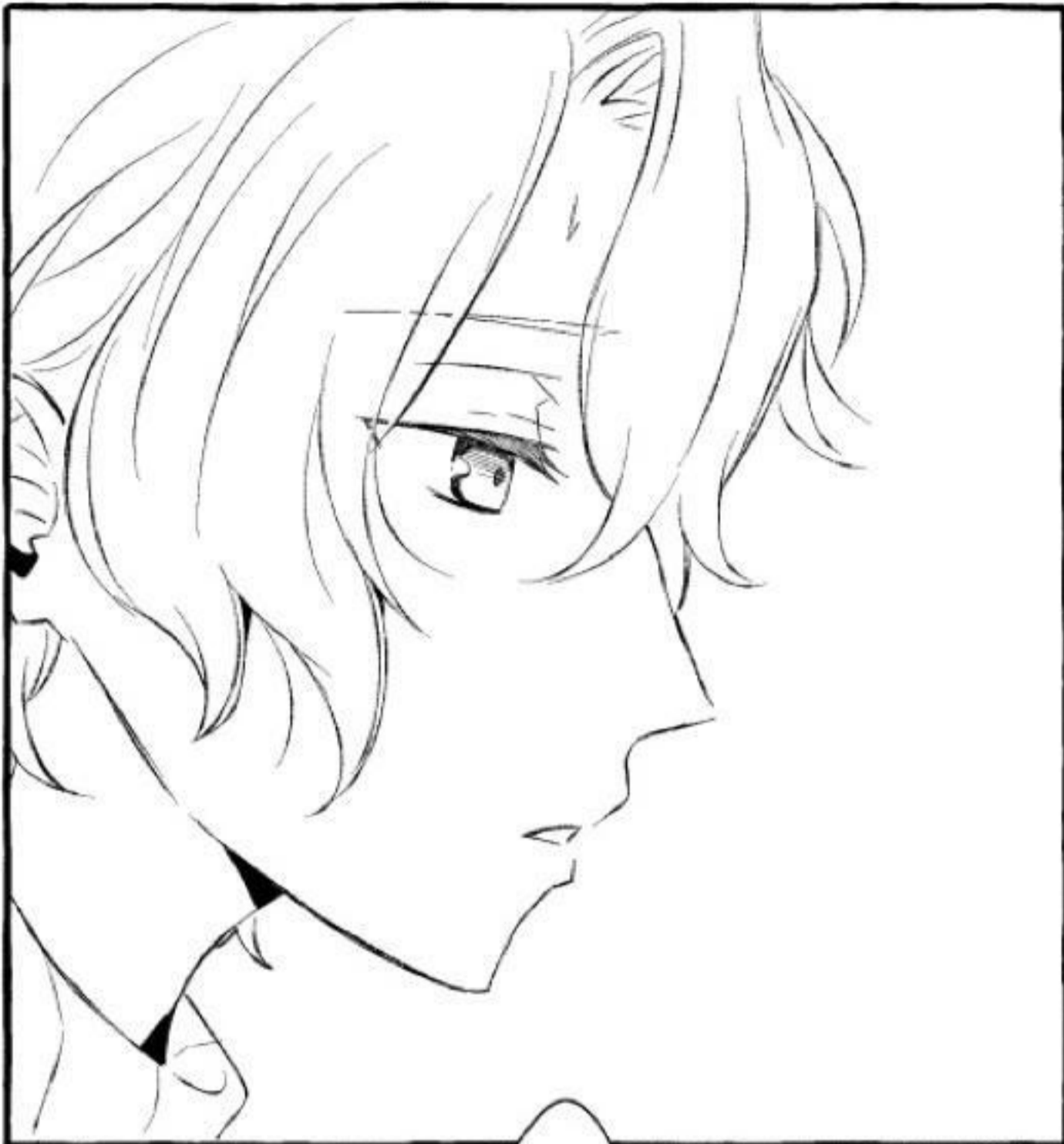


さっさと  
ジュンくんをさらす...



...どうしてそんな  
哀しいことを言うの...







あんたが見ている  
オレは…

誰なんですか？

冷たい瞳

そうだよ

また仲良く話したい  
だなんて  
単なるぼくの「E」

仲良くなったって  
どんなに親しく  
なったって

またきみが  
ぼくのことを  
想ってくれるような  
奇跡が起きたって

ぼくはその気持ちには  
応えられないんだから





それならいっそのまま  
仕事上の関係として  
今後も接していくのが  
良いのかもしれない

カタン

ううん  
それすらも彼に  
決めてもらったほうが良い



…もう

やめるね



きみはきみのまま

自分が思うように  
生きていきなさい

ジュンくん…





この部屋は303

カチヤ



エロかな



ずる...



ずる...



カチヤ

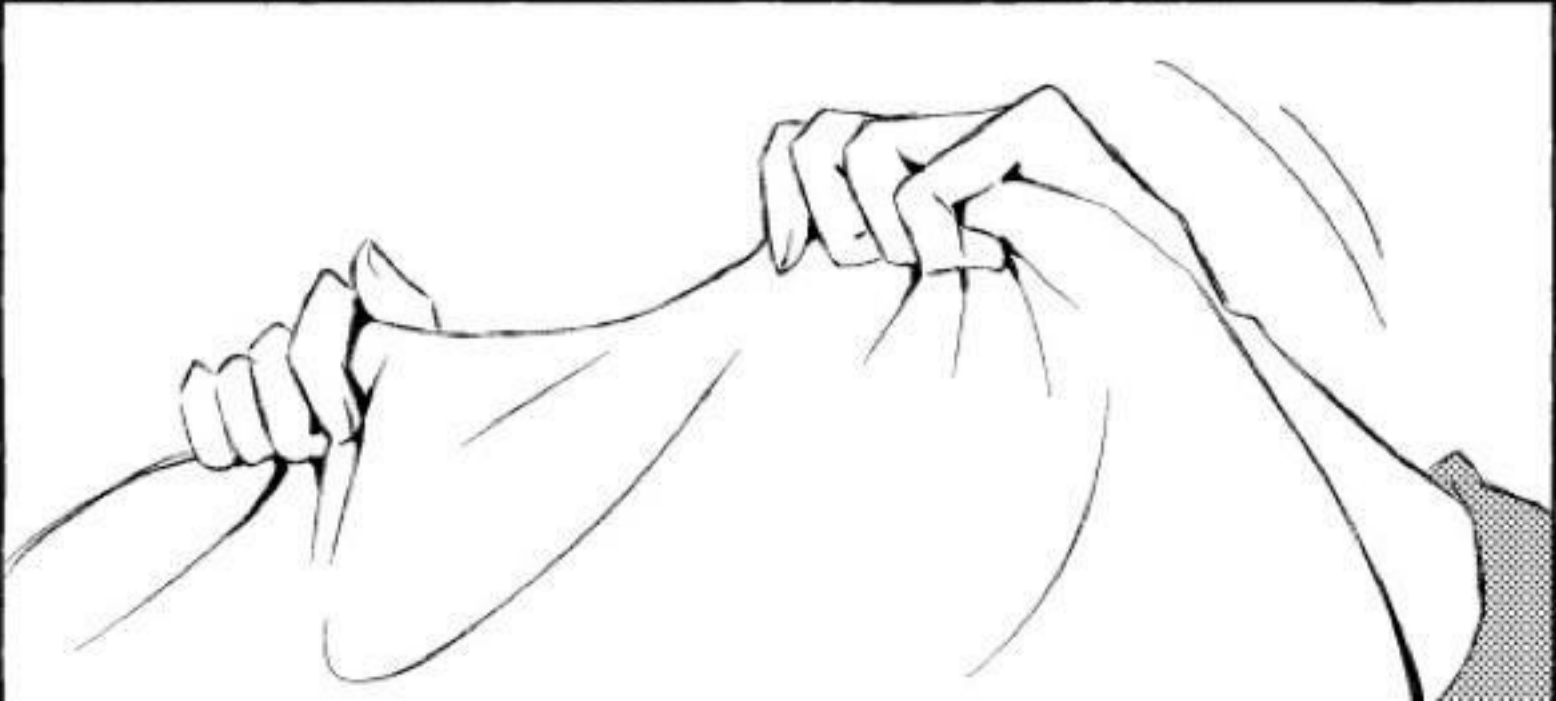




ジュンくんと過ごした二年間が



—— ありがとう ——





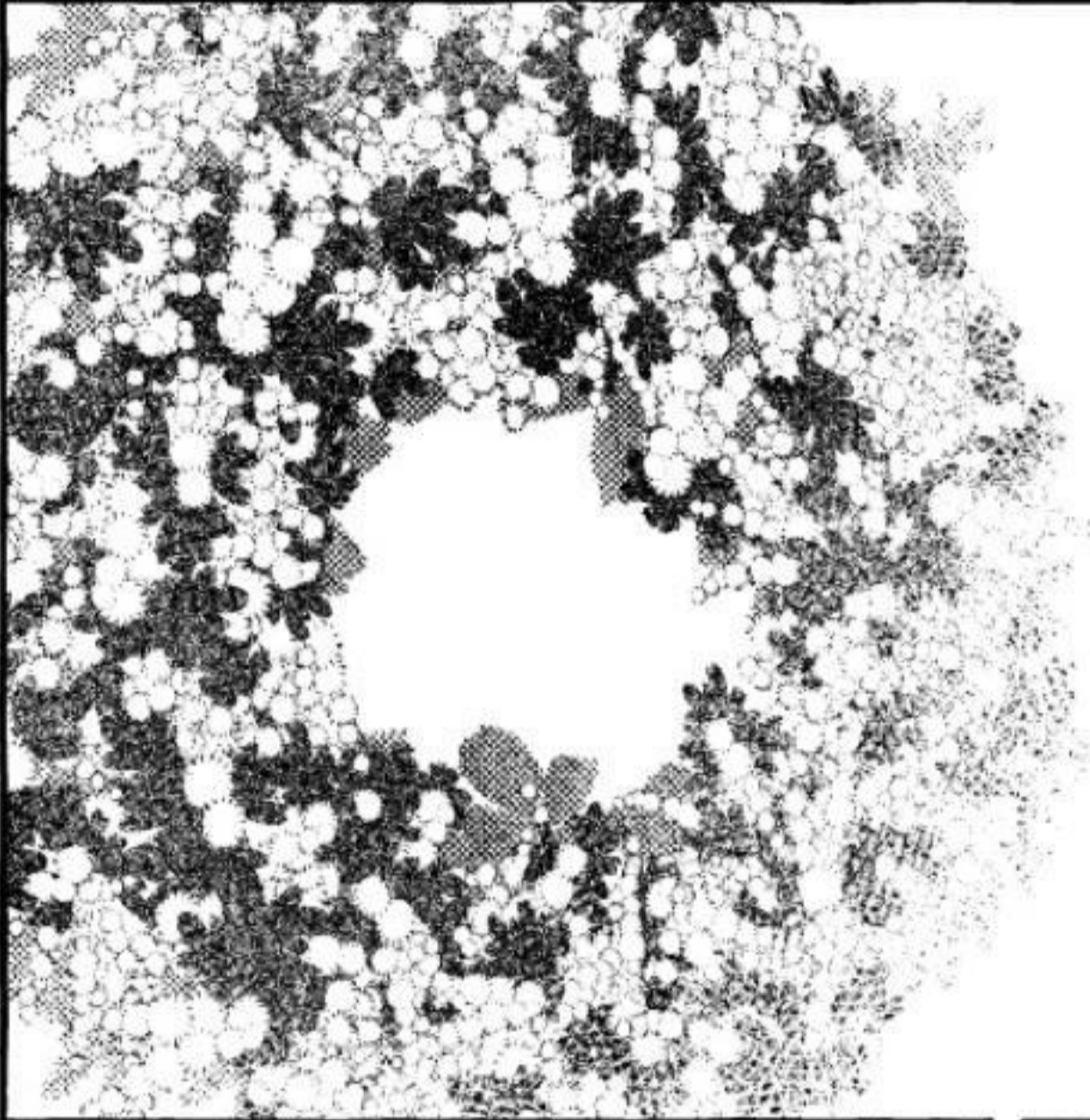


このまま  
死ぬのかな  
ぼく...

これじゃまるで  
走馬灯だね...







あなたが持っているほうが、より綺麗に見える



ミモザの花言葉にはね  
いろいろあるんだけど...



え？  
...そう  
じゃあジュンくんの卒業式には同じ花をプレゼントしてあげようね





「真実の愛」







ジュン！  
卒業おめでとう  
ございます！  
敬礼♪







はあ  
そりゃどうも…  
って何で  
いるんすか  
茨

何でも何も本来なら  
出席するはずだった  
殿下の代わりですよ

代・理！

むす。

急用ができた  
とかで？

全く本当に人使いが  
荒いですね  
あのひと



自分のスケジュール  
丸無視して玲明学園の  
卒業式に参席して  
こいだなんて

隙間を空けるのに  
どれだけ調整した  
ことか！

微妙に愚痴っぽい  
っすよお？



はい  
こちらお受け取り  
ください

ばき

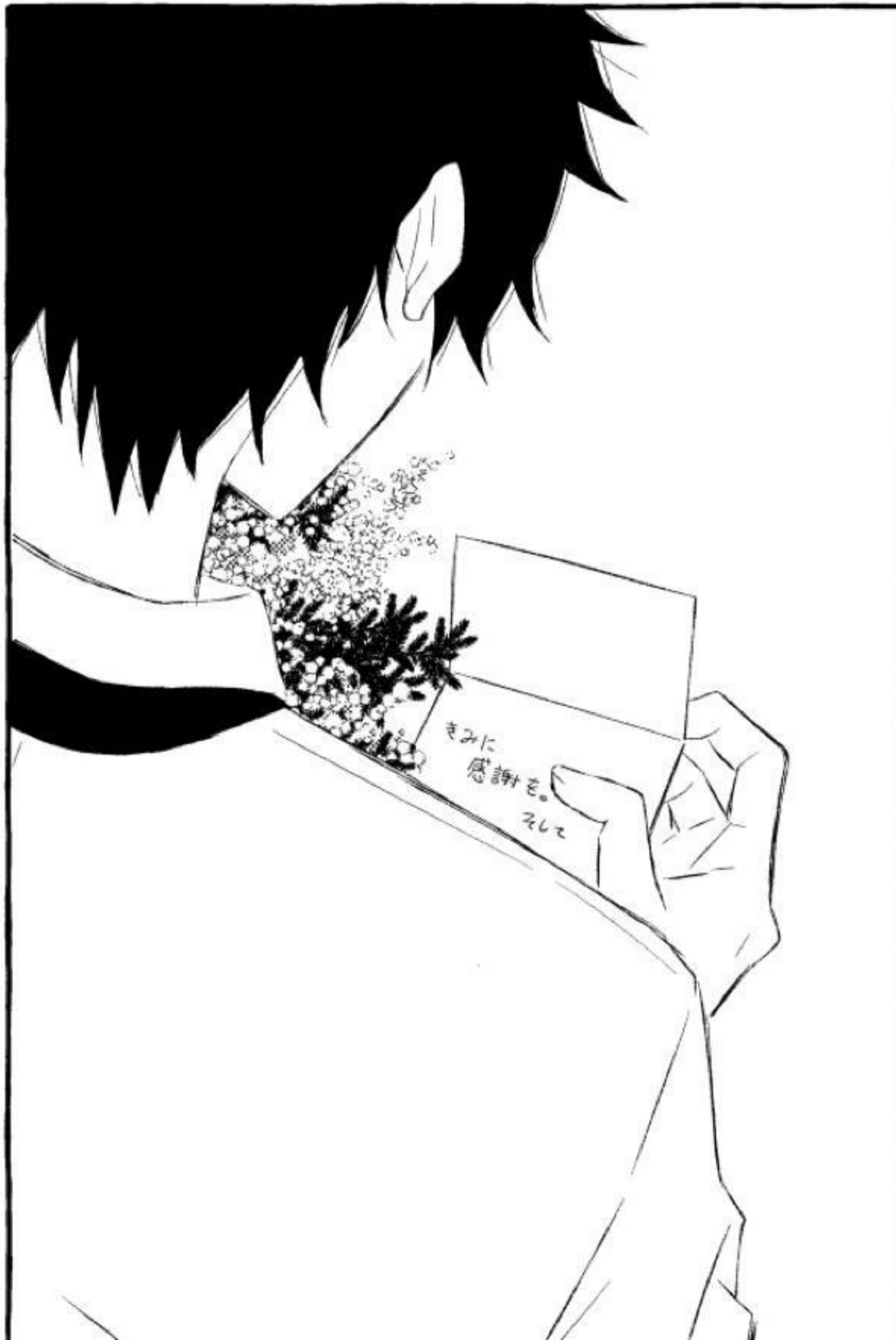


んえ

はあ

日和殿下  
からです









ねえ

そろそろ自分の気持ちに  
正直になったら？



煩いね  
分身

きみがぼくだと  
いうのなら  
ちよっとは察して  
ほしいね

あのメッセージは  
最後の悪あがき？

その通り

もう期待なんて  
しないけど

全然スマート  
じゃないし  
ぼくらしくないん  
だけどね





ちゃんと  
わかってる？

ぼくがきみの  
目の前に現れた理由

素直じゃ  
ないよね



最後ぐらい  
言いたいこと  
言っても  
いいのかなって  
思っただけ

どうせ後悔するならの  
気持ちでここまで  
きたしね



対価…？  
代償…？

だからぼくは  
きみに協力して  
あげてるのに  
きみはちろっとも  
前に進もうと  
しないんだから！



え？

受け取った対価を…  
あのときの代償を…  
お返しする為なんだけどね



は  
はあ？



呆れちゃうよね！





いいいた





お返しします

あ…うん  
ごめんね…



…そっか…  
そうだよね…  
本当に  
ごめん…

そうじゃなくて



茨にこれ押し付ける  
ぐらいなら  
ちゃんと自分の手で  
渡しにきてくださいよ



あんたが  
持っていた方が  
綺麗に見えるから  
ですよ





『真実の愛』



あのメッセージ  
カード

…この花の  
花言葉…

『感謝』そして



それで急に  
あなたの顔が  
見たくなった



めちゃくちや  
小っ恥ずかしい  
言葉なのに  
なんでかスッと  
オレの中に  
入ってきたんです





昨日ナギ先輩から  
聞きました

あんたは…  
『人を愛すること  
愛されること』を  
大切にしている…

そうだったのか…  
ぐらいいの感覚だった  
んですね…

あんたを探しているとき  
頭の中でその言葉が  
グルグルしてた

でも心地良い  
あったかさで…

その間ずっと  
胸の中が熱くて…

それでハッと  
したんです

おひいさん

オレのことを

愛してくれてたんじゃ  
ないのかって





そんなことは...

あんたが覚えてないならそれでいい



包み込んでくれるような愛情が

どうしようもなく優しくて温かい



オレも正直詳しいことまでは思い出せないんです...悔しいけど...



でもオレのここにはずっと残ってる







だから今度は

返させてください

あんたを愛しても

いいですか？



あ、オレ

変なこと  
言ってます…？



オレ  
好きなんです  
おひいさんのこと

多分

ずっとずっと  
前から



流されそうになる

今朝見た瞳とは  
まるで正反対

そう  
ぼくはジュンくんの  
この瞳が好きだ

許されるなら彼の熱に  
いつまでも  
寄り添っていたい



ジュンくん…

本当なら喜んでるさ

今か今か  
抱きかかってくれ







実家から…  
じじいから  
おなぐちや…

んん…

んんんんんん  
んんんんんん

きみはまた  
後悔するの？





何？

望みは

きみの一番  
大切なものは

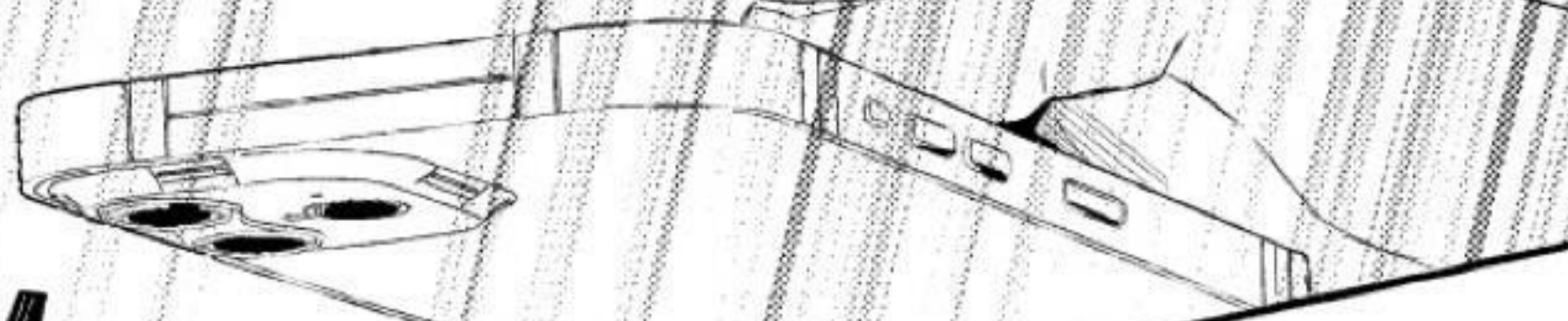


ほくほ...





アッ



はあ…

はあ…っ

おひい…  
さん?



あ…はは…

あははは!



初めて家族に  
反発しちゃった

なんだかもう…  
スッキリしたね!

後から家族に  
怒られちゃうかな…

でもまあ  
今はどうでもいいね!  
うんうん!

後のことはのんびり  
考えればいいからね!











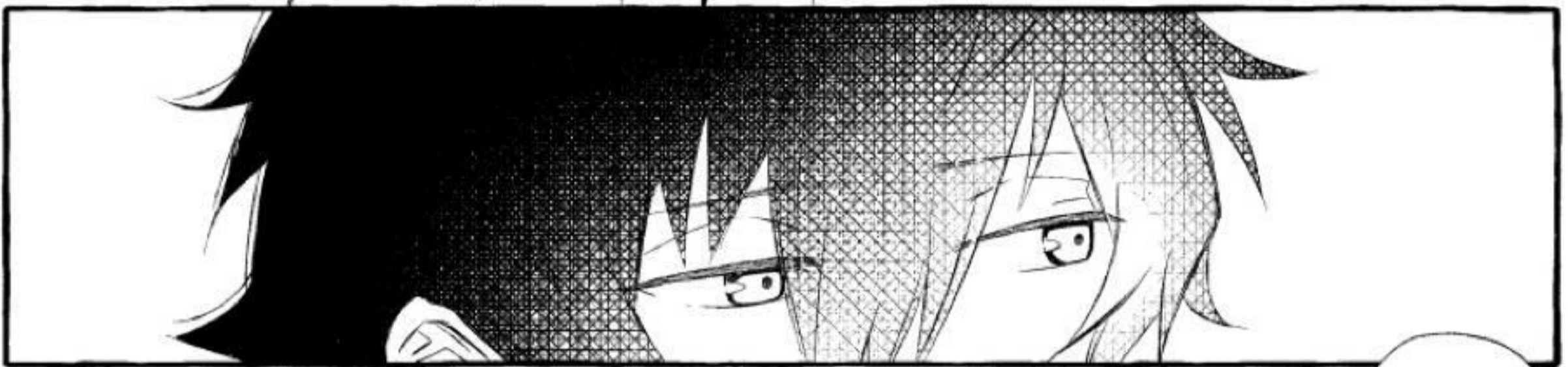
『人から  
愛されたい』感情を

完全に  
捨てたんだよね



そう

夢ノ咲学院で  
fineとして舞台上に  
立った最後の夜



ぼくはね  
過去に沢山の  
罪のない人たちを  
踏みにして

血に染まった  
その手を

震える指を

身体を

いつも誰かに  
慰めてもらって  
いたね

そんな最低で愚かだと  
自分ですらも唾ってしまう  
現状に耐えられない  
生活が続いて

ついにはそこから  
解放される為に









…全くもう

そういう点は  
覚えていてくれて  
いたのかな

それとも  
凧砂くんから  
聞いたとか？

ぼくにとって家族は  
命に代えても  
守りたいもの

だけどぼくは

それほどに  
とても大切な存在

…まあいいね

真っ当な『愛』を  
家族から受け取った  
ことは無くて

捨てたのは自分だから  
しょうがないんだけど

きみにもいつか  
話したよね

『自分を演じている』  
ってことを

『家族からの愛を  
演じることによって  
拒否し続けた』  
自分にとって

家族以外に対しても  
『愛されたい』という  
気持ちを捨てることに  
抵抗はなくて

むしろ  
慣れたもの  
だと

苦じゃないはず  
だったね





そんな中



きみに  
出逢ってしまった



望んでは  
いけないのに

でも

最初から  
わかっていた

これは  
止められるものじゃ  
ないんだって





お伽話のような  
嘘みたいな話  
だよ



だけど自分自身に  
制約を課したのは  
本当で…

心にずっと  
セーブをかけていた

きみの気持ち  
をずっと有耶無耶に  
してしまっただけ  
そのせい…



『愛されたい』という

単純な願いを



自信が、無かった



きみの優しさに  
甘えてしまうたびに

胸の中を鋭く  
過去の過ちが  
突きさしてくる

汚れた自分が  
きみからの真っ直ぐな  
愛情を受け入れるだなんて  
とてもじゃないけど  
無理だと思ったね





その点に  
関しては

本当に  
ごめんなさい…



過去のことは  
このまま時間と共に  
風化すればいいとさえ  
思っていたね

その結果

きみは巻き込まれ  
なくてもいい  
事故にだって  
遭ってしまった



きみの言う…

ケジメってやつ

だね



あっ…頭上げて  
ください！

別に  
謝ることは…

ううん  
謝らせて







ただ…これからもぼくは  
アイドルを続けるし

それで得た成果で  
家へ貢献していくし

家族の為に  
きつとこの先も  
しばらくは

自分自身を  
演じなければ  
いけないね



もう  
そんな顔しないで

ジュンくん  
あのね



おひいさん…



『本当のぼく』を  
見せられる



そんな『演じるだけ』の  
『居て居ない存在』だった  
『ぼく』にも

きみに…  
きみだけには





Edenの  
みんなと…

何よりきみの隣で  
歌い続けるとき

しっかりと  
呼吸ができる



それに

アイドルは  
ぼくの為でも  
あるからね！

アイドルは…  
ただひとつの  
『本当のぼく』で  
いられる場所だから



たとえまた  
落ち込んでしまった  
としても



きみは多分  
「しょうがないな」って  
笑いながら  
抱きしめてくれる



この世界の美しさを

愛を

感じる事が  
できる



だから今度は  
ちゃんと繋ぎとめてみせる

手離すなんて絶対嫌だ

ぼくは

きみに愛されたい

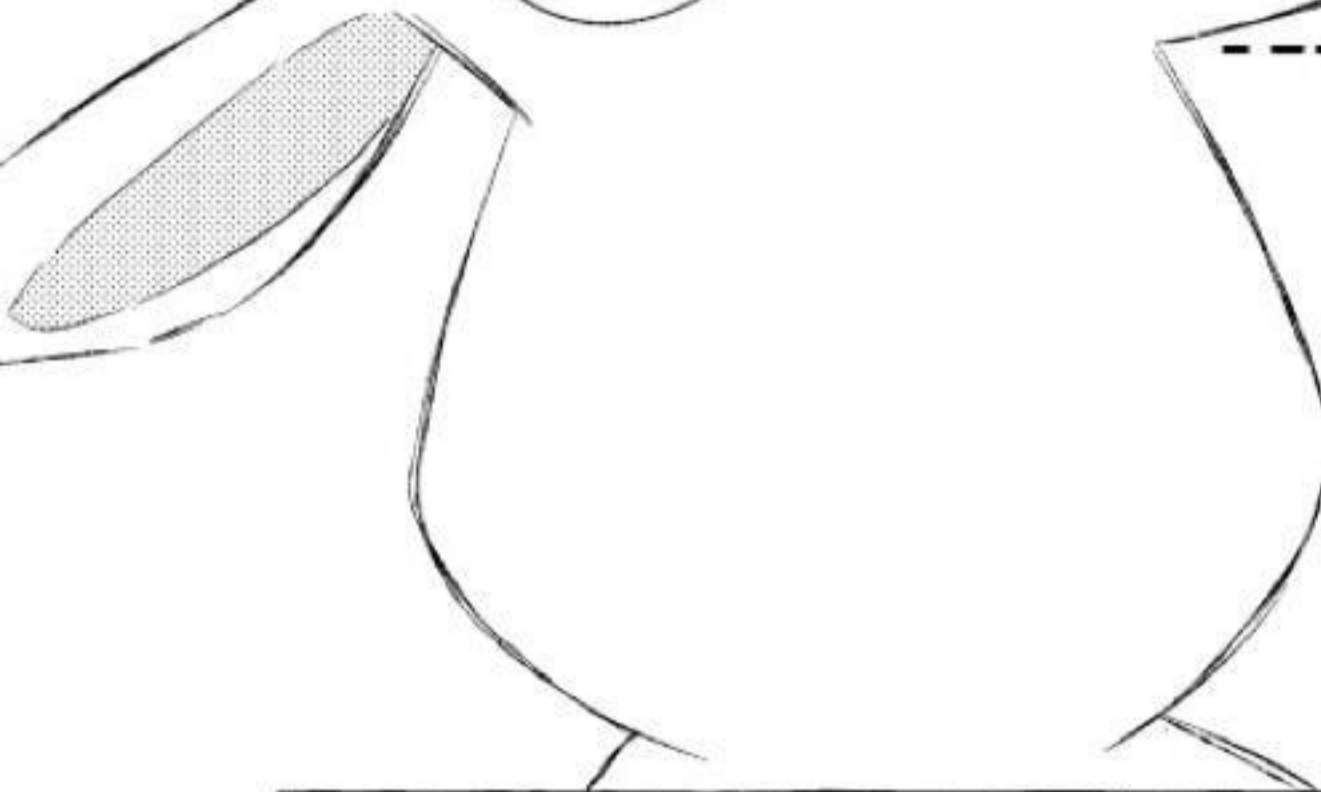






この後きみは  
自由を手に入れる  
代わりに

「人から愛されること」を  
望んではいけない道を  
生きていくことになるね



このやり取りは  
次に目を開けたときには  
記憶から消えるね


そうしないことも  
できるのに  
それでいいの？

大丈夫  
そんなこと  
ぼくの中においては  
些細なことでは  
ないからね


うん  
あまりにも現状が辛すぎて  
よくわからない生き物に  
契約しただなんて事実

普段のぼくなら  
到底信じない  
だろうしね





信じられるのは  
自分だけだから




ただ  
お願いが  
あるね

誰も愛せず  
誰からも愛されない…  
それがいつまで続くのか  
知らないけど


だけどいつか…  
何かの  
きっかけで…

心から大切に想える  
ようなひとに出逢えた  
ときは…



ぼくの話聞いてた？  
あと強欲すぎじゃない？  
絶望を契約した後に  
希望を望むだなんて

当然だね！



『ぼく』が

幸せになれるような  
道を切り開くって！



だってぼくは

愛と共に  
幸せな世界を望む

巴日和  
だからね！

…はあ  
やれやれ

やっと『ぼく』の  
仕事も  
終わったかな





すみません  
でもちよつと  
抑えがきかねえ  
っーか…



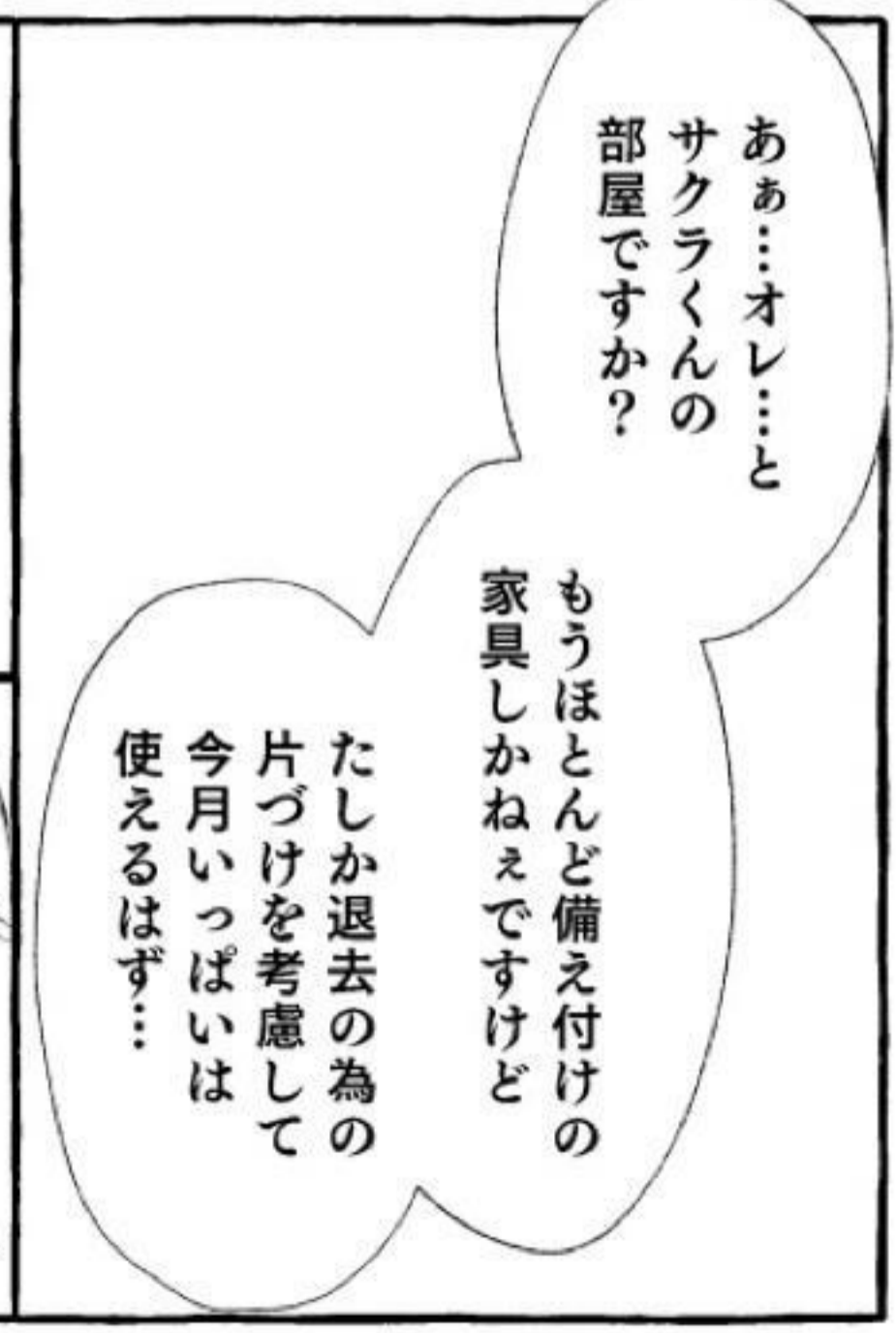
ジュンくん  
苦し…



ね  
玲明の寮室って  
まだ使えるのかな



うん  
十分だね  
行こうか



ああ…オレ…と  
サクラくんの  
部屋ですか？  
もうほとんど備え付けの  
家具しかねえですけど  
たしか退去の為の  
片づけを考慮して  
今月いっぱいには  
使えるはず…



ここは  
冷えるし…

暖かい感じ

ジyunくんは

あはは！  
久しぶりだね  
この感じ！

ぼくが住んでた部屋と  
同じ間取りだから  
なんだか懐かしいね♪

いやオレが  
まだこっちに居た頃  
あんたちよくちよく  
来てたでしょうが…

そうだったけ？

そうですよ

そんで  
ソファの上とか  
ベッドにこうやって  
腰かけて

ト  
スト  
ツ





ギョ...

どうだろ...

泣くって...

...思い出した?



もう少し...



確かめさせて  
ください





やり方はわかる？

確かめるも何も  
ジユンくんこの先は…

ジユンくん



イメトレねえ…  
ぼくとの？  
え！

あはは、  
…



え、あ、まあ  
イメトレは  
いつも…



まあ別にぼくだって  
得意なわけじゃ  
ないんだけどね…

同性相手の経験は  
あんまりないし…

それに昔の経験がここで  
役に立ってしまうのも  
なかなか複雑ではあるんだけど



…いいよ  
ぼくが教えて  
あげるね





幻滅しほくつなう  
願ってしまふ



いまこの瞬間も  
たくさんたくさん  
きみから愛されてるのよ



ねえきみは  
ほんとほくせいに思ってる



ん...あ...

ああ...



ほくのも

触って



だけとね

これせ  
「ほく」だから













十分あなたに  
教えてもらったんだから

愛することば

うんうん！よく頑張ったねジュンくん！





これでぼくたちの  
次のライブは  
大成功だね！

はあ…  
しんどかった…

頑張ります…

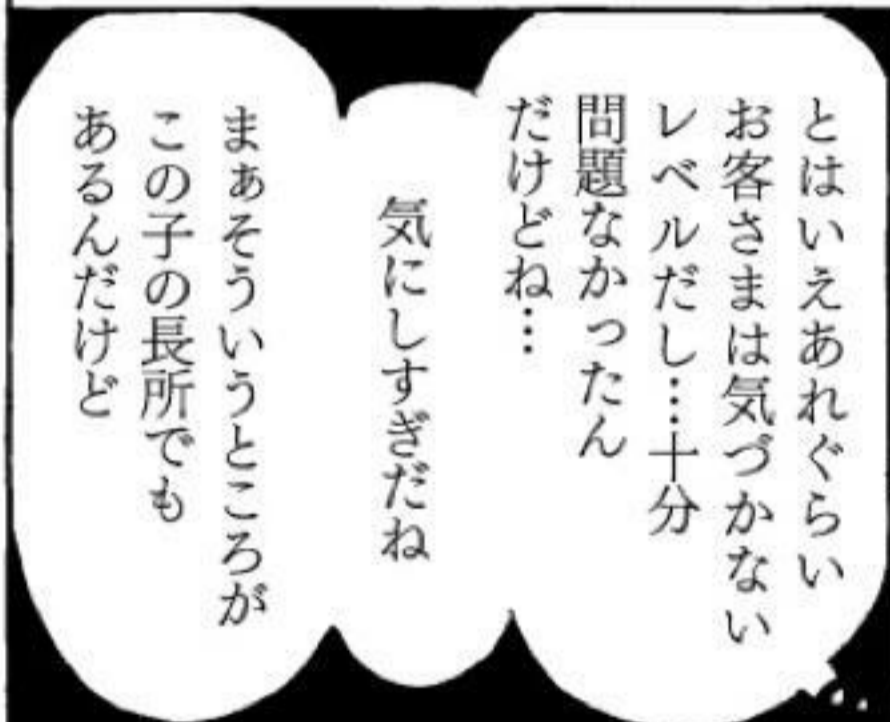


うんうん！  
今日はぼくが  
ご飯を奢ってあげるね！

ばいっ

えっ  
どういう  
風の吹き回し…

ジュンくん  
どうしたの？



とはいえあれぐらい  
お客さまは気づかない  
レベルだし…十分  
問題なかったん  
だけどね…

気にしすぎだね

まあそういうところが  
この子の長所でも  
あるんだけど

ミス…？  
ああぼくとのステップが  
少しズレたアレかな…



今日のライブのミスを  
反復してるんです

それでも  
気にしてるんで…



えいっ

ずいっ

うわ





しょうがないから  
傍にいてあげるね!

ジュンくんのご主人さまの  
このぼくが



…なんだよ  
それ…



この前は  
ありがとうございました

え?  
……?

ハニ



どうぞ









言っときますけど  
初めて作ったんで  
味は大目に見て  
くださいよお？  
後から「不味かった」は  
ナシでお願いします



きみが初めて  
作ってくれた  
キッシュ…

正直  
美味しいとは  
いえなかったん  
だけどね…









これは…  
嬉し泣き…だね…



いつからそんなに  
泣き虫になったん  
ですかあ？

……

わっ

グイッ



い  
今までだって  
抱きしめてたよね…っ

それに  
キスだって…

…ああ…オレが  
あんたのこと  
慰めてたときの  
ことですかあ？

まあオレは  
あんまり覚えて  
ねえんで



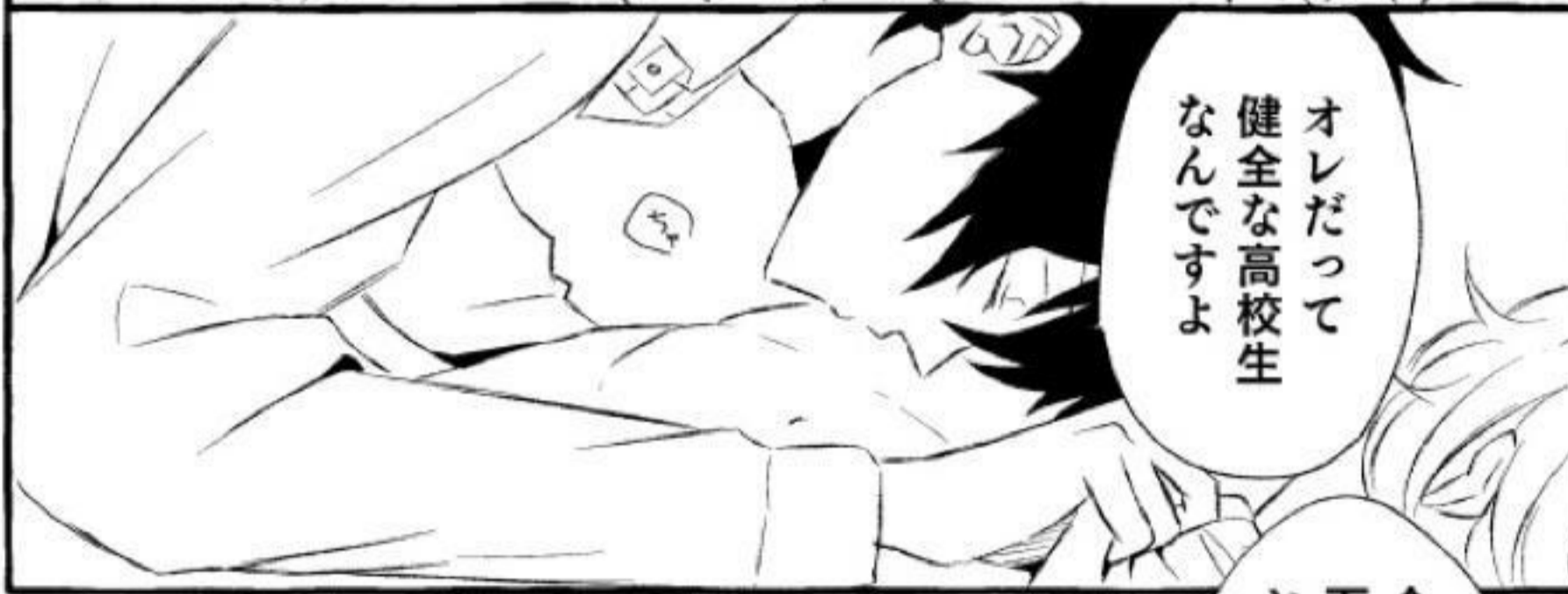
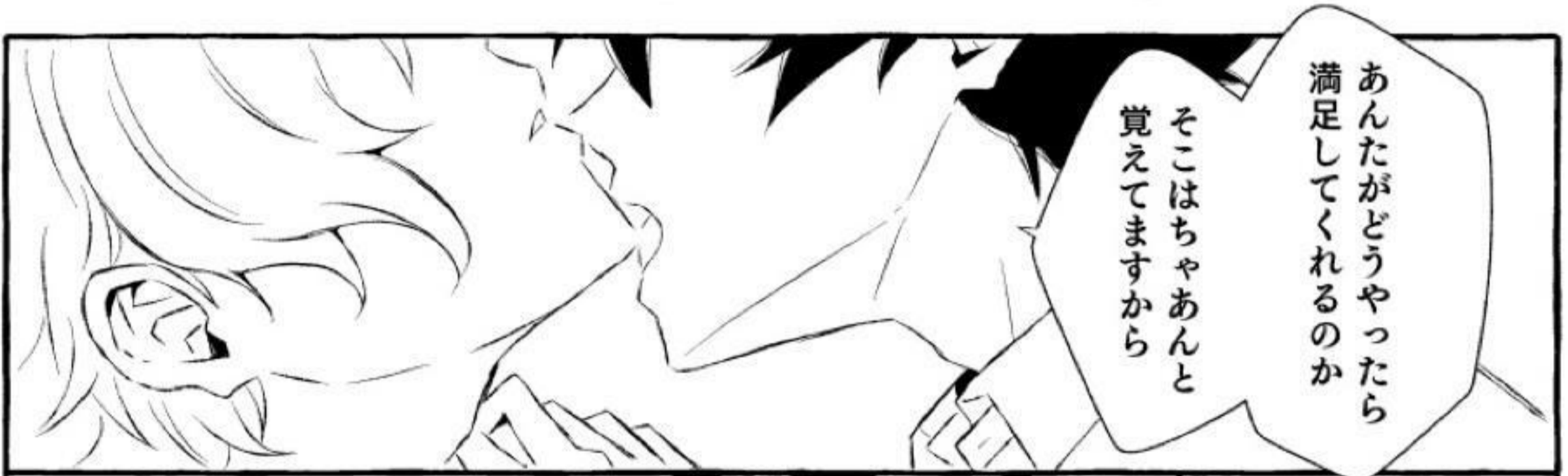
だけど



ちゃんと思いきり  
抱きしめられる

やっと









どじょうじょう  
ジュンくんは  
触れられているだけで  
頭がおかしくなりそう

ほんとに  
初めて?

はあ



卒業したから  
もう高校生じゃ  
ねえか



あ  
でも









何だかんだ...  
年下だろうが何だろうが  
この子に絆されていたのは  
間違いない

好き...



「ほくほく自身」を  
真っ直ぐ見つめてくれる  
彼を独り占めしたくて

全くもっ...急に  
余裕なさすぎだね...  
でも  
こっぴどいところが  
可愛いところか

...ジュン、くん  
ちょっと  
待って...





愛してほしく

勢い任せもまあ…  
良いんだけどね…

いつもそればかり  
願っていて

ちゃんと  
教えてあげるから

でもずっと  
言えなくて

自分を愛してくれる人に  
心からの気持ちをちゃんと  
伝えたかった

ぼくの愛し方

だから  
しっかりと覚えて

たくさんたくさん  
愛してほしいね





…あゝ



ああ…本当に

あ

は、ん

ん…

あっ

ああっ



あゝ









真正面から  
無条件に愛される…

こんなにも素敵なこと  
なんだね…





数日後

やあ

おやおや？こんな  
良いお天気の日  
に英智くんの介護？  
大変だね  
つむぎくん！

やっほう

いやあ相変わらず  
日和くんは  
英智くんに対して  
容赦がない  
ですよ…

日和くん







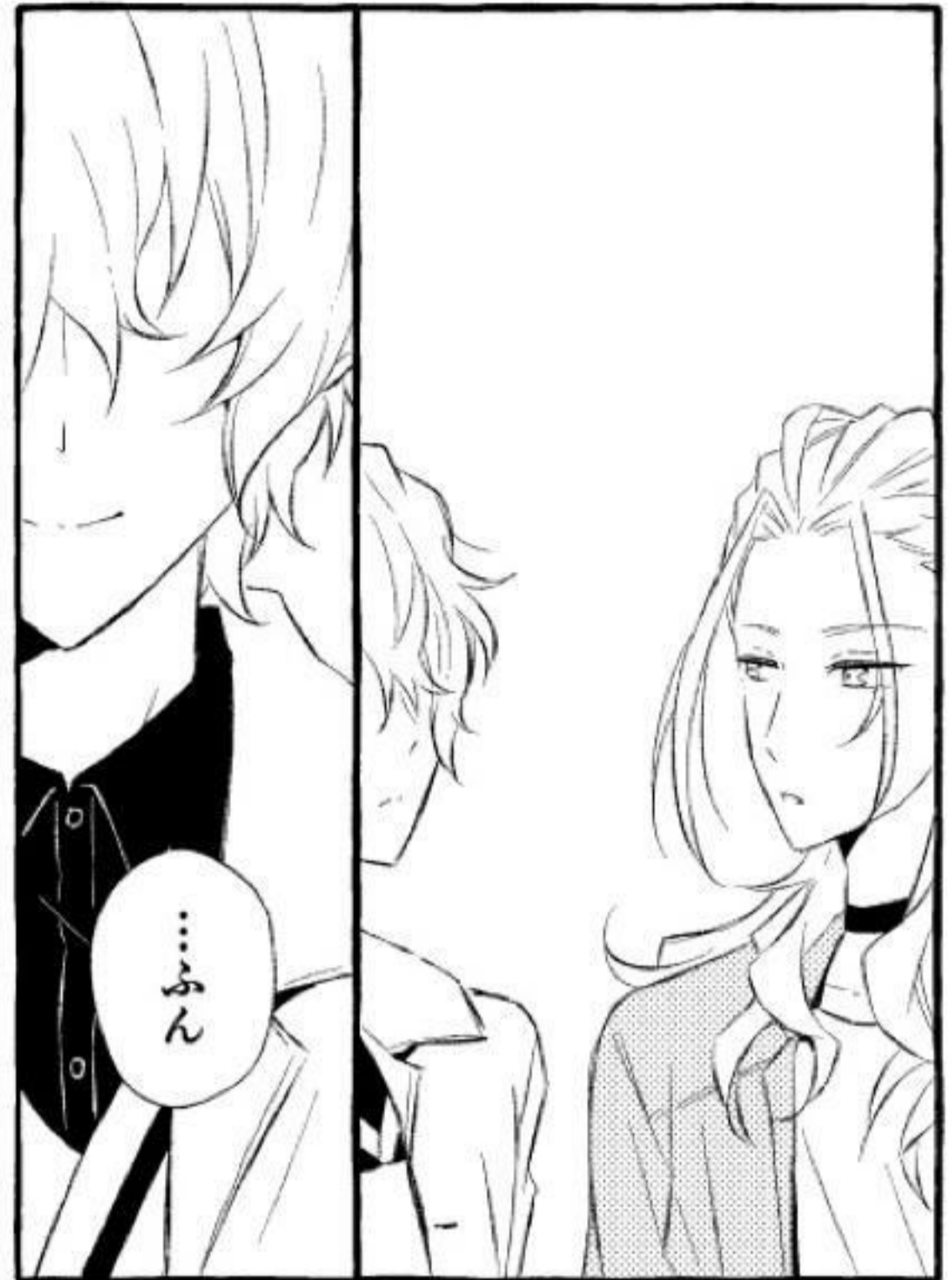
常に心を強く 持ちなさい  
日和くん





ほんっとくに  
余計なお世話だね！

大丈夫  
もともとぼくは  
強い人間だしね！



…ふん



すんません！  
遅れました！

先の取材が  
押してしまいました

バ  
ッ  
バ  
ッ  
バ  
ッ



それに









……なんだか  
ジュンがちょっと  
羨ましい

そうですかあ？  
自分は全く持って  
愛なんて  
むず痒いものは  
理解できない  
人間ですの


愛されてるね

……私は茨のことを  
愛してるよ


……もちろん  
日和くんのことも  
ジュンのことも  
愛してる

……日和くん  
君は自分が  
思っている以上に







周りはたくさんさんの愛に溢れていて



そして君は



周りに愛をたくさん与えているんだよ



あー





え...これ...



...卒業おめでとう



あ...  
ありがとうございます

もうっ  
ぼくからのプレゼントに  
そのリアクションは  
ちよっと失礼しちゃうねっ

いや  
なんっつか  
まさかっという  
気持ちか  
デカすぎて...

花言葉  
覚えてる?









愛してる  
ジュンくん

君に感謝を。そして真実の愛を